



# 文部科学省独立行政法人評価委員会 文化分科会日本芸術文化振興会部会委員名簿

## < 正委員 >

船山 信子 上野学園大学音楽・文化学部教授

渡邊 正太郎 前社団法人経済同友会副代表幹事、株式会社伊勢丹社外取締役

## < 臨時委員 >

扇田 昭彦 演劇評論家

根木 昭 東京芸術大学音楽学部教授

星野 紘 東京文化財研究所名誉研究員

三浦 雅士 舞踊評論家

(以上6名、 は部会長)

# 独立行政法人日本芸術文化振興会の平成18年度に係る業務の実績に関する評価

## 項目別評価総表

項目名	中期目標期間中の評価の経年変化					項目名	中期目標期間中の評価の経年変化				
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
(大項目名)業務運営の効率化に関する目標を達成するための措置	-	-	-	A		(細目名)大衆芸能(寄席囃子、太神楽)	A	A	A	A	
(中項目名)業務運営の効率化	A	A	A	A		(細目名)能楽(ワキ、狂言、囃子)	A	A	A	A	
(小項目名)業務運営の効率化状況	A	A	A	A		(細目名)文楽(大夫、三味線、人形)	A	A	A	B	
(細目名)効率化に関する施策	A	-	-	-		(細目名)組踊(立方、地方)	A	B	A	A	
(小項目名)組織機構の在り方の検討状況	-	A	A	A		(細目名)既成者研修	A	A	A	A	
(細目名)組織機構の在り方の検討状況	A	-	-	-		(細目名)伝統芸能伝承者養成に係る自己点検評価の実施等	A	-	-	-	
(中項目名)外部評価の実施、職員の意識改革	-	A	A	A		(小項目名)現代舞台芸術の実演家の研修	A	A	A	A	
(小項目名)外部評価の実施、職員の意識改革	A	A	A	A		(細目名)オペラ研修	A	A	A	A	
(細目名)外部評価の実施状況	A	A	A	A		(細目名)バレエ研修	A	A	A	A	
(細目名)職員に対する研修の実施状況	A	A	A	A		(細目名)演劇研修	A	A	A	A	
(大項目名)国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	-	-	-	A		(細目名)現代舞台芸術実演家研修に係る自己点検評価の実施等	A	-	-	-	
(中項目名)芸術文化活動に対する支援	A	A	A	A		(中項目名)調査研究 資料の収集活用	A	A	A	A	
(小項目名)助成金の交付実施状況	A	A	A	A		(小項目名)伝統芸能関係	A	A	A	A	
(細目名)助成金の交付実施状況	-	A	A	A		(細目名)伝統芸能の調査研究	A	A	A	A	
(細目名)助成金交付事務の効率化・簡素化状況	A	A	A	A		(細目名)伝統芸能の資料の収集・活用	A	A	A	A	
(小項目名)審査における透明性等を確保	A	A	A	A		(細目名)伝統芸能の調査研究等に係る自己点検評価の実施等	A	-	-	-	
(小項目名)基金の管理運営	A	A	A	A		(小項目名)現代舞台芸術関係	B	A	A	A	
(小項目名)実施状況等の調査、各種情報等の提供	-	A	A	A		(細目名)現代舞台芸術の調査研究	A	A	A	A	
(小項目名)助成対象活動の実施状況等の調査	A	-	-	-		(細目名)現代舞台芸術の資料の収集・活用	B	A	A	B	
(小項目名)芸術団体等に対する各種情報等の提供	B	-	-	-		(細目名)現代舞台芸術の調査研究等に係る自己点検評価の実施等	B	-	-	-	
(細目名)助成対象活動の実施状況等の調査	-	B	A	A		(中項目名)劇場施設の利用	A	B	B	B	
(細目名)芸術団体等に対する各種情報等の提供	-	A	A	A		(小項目名)劇場施設の利用	A	B	B	B	
(細目名)ホームページのアクセス状況	A	-	-	-		(中項目名)附帯する業務	A	A	A	A	
(中項目名)伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演	A	A	A	A		(小項目名)教育普及事業の実施	A	A	A	A	
(小項目名)伝統芸能の公開	A	A	A	A		(細目名)講座等の実施状況	A	-	-	-	
(細目名)歌舞伎	A	A	A	S		(細目名)講座等の参加者数	A	-	-	-	
(細目名)文楽	A	A	A	A		(細目名)講座等の参加者の満足度	A	-	-	-	
(細目名)舞踊・邦楽・雅楽・声楽・民俗芸能ほか	A	A	A	A		(細目名)舞台芸術教材の作成状況	A	-	-	-	
(細目名)大衆芸能	B	A	A	A		(細目名)文化デジタルライブラリーへのアクセス状況	A	-	-	-	
(細目名)能楽	A	A	A	A		(小項目名)広報活動の充実	A	A	A	A	
(細目名)組踊等沖縄伝統芸能	A	A	B	A		(細目名)ホームページの掲載に要する期間	A	-	-	-	
(細目名)演目の拡充	B	A	A	A		(細目名)ホームページへのアクセス件数	A	-	-	-	
(小項目名)現代舞台芸術の公演	A	A	A	A		(小項目名)交流事業の実施	A	A	A	A	
(細目名)オペラ	A	A	B	A		(小項目名)劇場利用者等へのサービスの向上	A	A	A	A	
(細目名)バレエ	A	A	A	A		(細目名)会員数の確保	B	-	-	-	
(細目名)現代舞踊	A	A	B	A		(小項目名)その他(歌舞伎400年記念事業)	A	-	-	-	
(細目名)演劇	A	A	A	A		(大項目名)予算・収支計画及び資金計画	-	-	-	A	
(小項目名)青少年等を対象とした公開・公演	-	A	A	A		(中項目名)予算・収支計画及び資金計画	A	A	A	A	
(細目名)伝統芸能分野	A	A	A	A		(小項目名)予算・収支計画及び資金計画	-	A	A	A	
(細目名)現代舞台芸術分野	-	A	A	A		(大項目名)その他主務省令で定める業務運営に関する事項	-	-	-	A	
(小項目名)連携協力 地方における上演	-	A	A	A		(中項目名)人事に関する計画	-	A	A	A	
(細目名)伝統芸能分野	A	A	A	A		(小項目名)人事に関する計画	-	A	A	A	
(細目名)現代舞台芸術分野	B	B	A	B		(中項目名)施設及び設備に関する計画	-	A	A	A	
(中項目名)伝統芸能伝承者養成 現代舞台芸術実演家研修	A	A	A	A		(小項目名)施設及び設備に関する計画	-	A	A	A	
(小項目名)伝統芸能の伝承者の養成	A	A	A	A		(中項目名)その他振興会の業務運営に関し必要な事項(運営委託)	-	A	A	A	
(細目名)歌舞伎(俳優、音楽)	A	A	A	A		(小項目名)その他振興会の業務運営に関し必要な事項(運営委託)	-	A	A	A	

当該中期目標期間の初年度から経年変化を記載。

総表

参考資料1】予算、収支計画及び資金計画に対する実績の経年比較(過去5年分を記載)

(単位:百万円)

区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
収入						支出					
運営費交付金	7,030	12,053	12,084	11,582		一般管理費	606	1,305	1,072	1,100	
施設整備費補助金	252	656	585	412		事業費	6,134	10,945	10,625	10,607	
公演事業収入	1,598	2,811	2,962	3,268		施設整備費	252	656	585	412	
公演受託事業収入	11	103	57	33		公演事業費	1,590	2,599	2,884	3,018	
基金運用収入	924	1,719	1,788	1,786		公演受託事業費	6	95	50	23	
諸収入	18	75	90	100		基金助成事業費	763	1,600	1,665	1,752	
計	9,833	17,417	17,566	17,181		計	9,351	17,200	16,881	16,912	

(単位:百万円)

区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
費用						収益					
経常費用						運営費交付金収益	6,139	11,098	10,943	10,563	
国立劇場公演等事業費	3,924	6,995	7,326	7,142		事業収入	2,427	4,428	4,511	4,813	
新国立劇場公演等事業費	2,675	4,863	4,802	4,730		受託事業収入	11	103	57	33	
基金助成事業費	1,304	2,209	2,261	2,215		財産利用収入	29	63	66	59	
一般管理費	578	1,210	983	973		寄附金収益	-	1	1	1	
減価償却費	100	406	642	752		資産見返負債戻入	34	266	490	569	
財務費用	18	23	45	34		財務収益	79	206	220	227	
雑損失	4	1	2	1		雑益	29	55	65	88	
臨時損失	-	3	-	16		臨時利益	-	0	2	19	
計	8,603	15,710	16,061	15,863		計	8,748	16,220	16,355	16,372	
						純利益	145	510	294	509	
						目的積立金取崩額	-	-	-	-	
						総利益	145	510	294	509	

(単位:百万円)

区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
資金支出						資金収入					
業務活動による支出	13,495	24,296	31,473	17,649		業務活動による収入	13,224	25,546	33,700	19,235	
投資活動による支出	6,319	11,320	13,648	12,556		運営費交付金による収入	7,030	12,053	12,084	11,583	
財務活動による支出	0	134	140	166		公演事業による収入	1,415	2,535	2,742	3,034	
翌年度への繰越金	2,784	2,487	3,764	3,291		基金運用による収入	924	1,719	1,788	1,786	
						公演受託事業による収入	41	56	102	11	
						その他の収入	3,814	9,183	16,984	2,821	
						投資活動による収入	4,609	9,906	12,838	10,663	
						施設整備費補助金による収入	252	412	656	585	
						その他の収入	4,357	9,494	12,182	10,078	
						財務活動による収入	0	1	0	0	
						前年度よりの繰越金	4,765	2,784	2,487	3,764	
計	22,598	38,237	49,025	33,662		計	22,598	38,237	49,025	33,662	

【参考資料2】貸借対照表の経年比較 (過去5年分を記載)

区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
資産						負債					
流動資産	7,640	21,300	5,426	4,407		流動負債	1,900	1,776	2,419	2,288	
固定資産	251,828	236,274	245,768	244,750		固定負債	706	1,939	2,046	2,911	
						負債合計	2,606	3,715	4,465	5,199	
						資本					
						資本金	246,819	246,819	246,819	246,819	
						資本剰余金	9,761	6,248	1,176	4,397	
						利益剰余金	282	792	1,086	1,536	
						(うち当期末処分利益)	145	510	294	509	
						資本合計	256,862	253,859	246,729	243,958	
資産合計	259,468	257,574	251,194	249,157		負債・資本合計	259,468	257,574	251,194	249,157	

備考 資本剰余金の減は、特定資産の減価償却費の増加によるものです (独立行政法人会計基準第86による)。

【参考資料3】利益 (又は損失) の処分についての経年比較 (過去5年分を記載) (単位:百万円)

区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
当期末処分利益					
当期総利益	145	510	294	509	
前期繰越欠損金	-	-	-	-	
利益処分数額					
積立金	145	401	294	-	
独立行政法人通則法第44条第3項 により主務大臣の承認を受けた額	-	109	-	-	

備考 平成16年度に独立行政法人通則法第44条第3項により主務大臣の承認を受けた額109百万円は、中期計画に基づき、観劇者サービス、情報提供の質的向上、老朽化対応のための施設・設備の充実等のため、今中期目標期間中に使用するものです。

【参考資料4】人員の増減の経年比較 (過去5年分を記載) (単位:人)

職種	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
定年制事務職員 (管理系)	73	71	61	59	
定年制事務職員 (事業系)	253	248	257	247	
	326	319	318	306	

職種は法人の特性によって適宜変更すること

# 独立行政法人日本芸術文化振興会の平成18年度に係る業務の実績に関する評価

## 項目別評価

### ○評定基準について

S：特に優れた実績を上げている。(客観的基準は事前に設けず、法人の業務の特性に応じて評定を付す。)

A：中期計画通り、または中期計画を上回って履行し、中期目標に向かって順調、または中期目標を上回るペースで実績を上げている。(当該年度に実施すべき中期計画の達成度が100%以上)

B：中期計画通りに履行しているとは言えない面もあるが、工夫や努力によって、中期目標を達成し得ると判断される。(当該年度に実施すべき中期計画の達成度が70%以上100%未満)

C：中期計画の履行が遅れており、中期目標達成のためには業務の改善が必要である。(当該年度に実施すべき中期計画の達成度が70%未満)

F：評価委員会として業務運営の改善その他の勧告を行う必要がある。(客観的基準は事前に設けず、業務改善の勧告が必要と判断された場合に限りFの評定を付す。)

### I 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 A

中期計画の各項目	指標又は評価項目	評 定 基 準			指標又は評価項目に係る実績	評 定		
		A	B	C		段階的評定	定 性 的 評 定 等	
1-1. 劇場利用者等へのサービスその他の業務の質の向上を考慮した業務運営の効率化	業務運営の効率化状況	<p>振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する</p> <p>※Sについては、客観的基準を事前に設けず、法人の業務の特性に応じて評定を付す。また、Fについても、客観的基準を事前に設けず、業務改善の勧告が必要と判断された場合、その評定を付す。 【以下、全ての項目について同様】</p>			<p>1. 企画・分析機能の強化</p> <p>(1) 国立劇場開場40周年記念事業実行委員会の設置 国立劇場開場40周年記念の諸事業を、国民の期待に応えつつ円滑に実行するため、理事長を委員長として関係の理事、部長を委員とする「国立劇場開場40周年記念事業実行委員会」を設置した。委員会の下に個別の案件について詳細な検討を行うための作業部会を置き、各部各課を横断して関係の職員を網羅的に構成員とし、企画・立案や事業の内容の充実と迅速な実施を図った。</p> <p>(2) 次期中期計画の策定に向けた法人見直し対策本部の設置 中期目標期間終了時における次期中期計画の策定を含めた法人の組織・業務の見直しに際して、総務省・文部科学省等外部への対応、及び振興会内部の取りまとめ・調整を行う体制を確立するため、平成19年2月に「法人見直し対策本部」を設置した。総務部・経理部担当理事が本部長となり、総務部長、経理部長を構成員とし、事務局を計画課に置いて、各部各課の連携の下に法人見直しに関して対応することとした。</p> <p>(3) 国立劇場さくらまつり実行委員会の設置 17年から開始し3回目を迎えた「さくらまつり」の実施に当たって、これまで総務部主導、関係各部の協力という体制で行っていた本イベントを、より組織的に実施するため、関係各部により構成する国立劇場さくらまつり実行委員会を設置して、連携協力関係を明確にした。</p> <p>(4) 月次報告、四半期報告の実施 引き続き、入場者数等の目標・計画の達成状況及び収入支出の状況等を月次で役員会に報告するとともに、四半期ごとに公演事業に関する自己点検評価を取りまとめ、トップマネジメントに不可欠な状況把握と計画に対する事業の進捗状況の分析等目標管理を行い、必要に応じて適切な対応を図った。</p> <p>(5) 評価への対応</p> <p>① 対応状況 17年度の点検評価を踏まえ、評価委員会の意見等に対応して検討を行い、役員会において「平成17事業年度の業務の実績に関する評価結果への対応」を審議・決定した。意見等については、可能な限り18年度中に事業へ反映させるとともに、19年度計画等に織り込んでいる。</p> <p>② 海外の類似機関との比較検討・公立文化施設の民間委託状況等の把握 17年度評価における評価委員会の意見を踏まえ、引き続き情報の収集・分析を行い、振興会内において詳細な検討を行った。</p> <p>2. 情報システムの活用</p> <p>(1) 館内LANの活用、グループウェアの利用等 振興会の組織全体にわたって整備された館内LANを介して、グループウェア（電子メール・電子掲示板・会議室予約・スケジュール管理等）や電子ファイルサーバ（共有フォルダ）を活用し、事務連絡の迅速化や情報の共有化を図った。また、19年2月から3月にかけて、機器更新等に伴いグループウェア及び電子ファイルサーバの更新を行い、機能の向上を図った。 また、継続的に保有・使用する文書・様式等を共有するため、部課ごとに内部ホームページを設置し、月間スケジュール・公演タイムテーブル・アンケート結果・販売収入報告等情報の共有化を図った。</p> <p>(2) 基幹業務システムの整備・活用 人事・給与システムの改善を進め、事務の合理化と効率化を図った。</p> <p>(3) 劇場利用業務のシステム化、助成業務システムの整備・活用</p> <p>① 劇場利用業務のシステム化 本館、能楽堂及び文楽劇場の施設利用（劇場貸与）に係る業務について、施設利用システムを導入した。顧客情報管理、劇場施設管理、料金管理、入場券発券、各種統計データの出力などの事務を電子化することにより、業務を効率的に行う体制を構築した。本格稼働に向け、顧客情報の遡及入力及び確認、各機能の試験運転及び調整を実施した。</p> <p>② 助成業務システムの整備・活用 17年度に移働したシステムの機能追加を行い、一層の事務の効率化を図った。</p> <p>(4) 情報通信基盤及び情報システムの機器更新、セキュリティの強化</p>	A	A	<p>全体に事務の効率化の努力は評価できる。とりわけ全劇場のチケットのインターネット販売実施は利用者にとっても福音であろう。また、随意契約の見直しについても、平成19年4月より会計規定を改正することとし、着実に進展しているものと考えられる。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新国立情報センターへの業務委託に伴う人員配置の効率化が徹底されているかどうかを継続的に検討することが望まれる。</li> <li>・一般競争入札による外部委託の促進により本来の業務の質的変質を避けることに留意することが肝要である。</li> </ul>

インターネット回線の増強、情報システムの機器更新による処理性能の向上を図り、また、ネットワーク構成の冗長性を向上させ、主体認証情報の管理機能を導入するなど、セキュリティの強化を図った。

情報システムの機器更新に併せ、ソフトウェアの見直しを行い、各人の情報端末にデータベースソフト及びプレゼンテーションソフトを導入し、事務能率の向上を図った。

### 3. 事業手続きの簡素化

#### (1) 事務手続きの簡素化

17年度に引き続き、文書専決規程や館内LANを介してのグループウェア、内部ホームページ等の活用により事務手続きの効率的な実施と事業の速やかな実施に努めた。また、個々の決裁書類については、合議を必要最小限にとどめ、効率化と迅速化を図った。

国立劇場開場40周年に当たり、記念事業の検討及び実施のための実行委員会及び作業部会を設置し、各部横断的な組織として事務手続きを簡素化し、特に作業部会において機動的に事業の詳細について検討し、迅速に対応する体制を整備した。

#### (2) 文書管理システムの運用

従来、システム上各職員単位で管理していたシステムを各課単位の管理へ改正した。これにより、起案文書等の詳細までデータを共有することができるようになり、事務の効率化が図られた。

#### (3) インターネット販売の充実等（国立劇場）

手続きの簡素化・迅速化とともに、利用者の利便性の向上を図るべく、独自のインターネットチケット販売システムの構築を行った。以下のような手続きの簡素化及び利便性の向上に資する改善を予定している。（19年6月販売開始予定）

- ・ インターネット会員登録による購入手続きの簡素化
- ・ 自動発券機の導入による発券手続きの簡素化・迅速化
- ・ 24時間インターネット販売（但し、メンテナンス時間を除く）
- ・ 予約可能期限の延長（開演時間の2時間前まで）・チケット引取り期限の撤廃（事前引取り不要）
- ・ お知らせメール送信による情報取得の利便性の向上
- ・ 全劇場を集約した販売専用のホームページの開設、全劇場公演の同時購入を簡素化

### 4. 一般競争入札による外部委託の推進

#### (1) 一般競争入札による外部委託の推進

14年度から大幅に拡大した一般競争入札の推進に努め、18年度の施設・設備管理業務等については、原則として一般競争入札により調達を行った（契約金額100万円以上32件中27件で一般競争入札を実施）。

また、国における随意契約の見直しに合わせ、19年4月1日より会計規程を改正し、少額案件について一般競争入札によらず調達できる額を引き下げ、競争入札の拡大を図ることとした（工事・製造・物品・借入以外のその他の契約は「300万円以下」から「100万円以下」となる）。業務内容に即した仕様の見直しを行い、より効果的な外部委託の推進を図った（本館駐車場管理業務について、委託業務の一元化を検討し、19年度より本館・能楽堂警備業務と一括して委託することとした）。

入札方法の見直しを行い、文楽劇場における電力供給及び清掃業務について政府調達方式による一般競争入札を実施し、調達における透明性の確保を図った。

#### (2) 入札機会の拡大

引き続き、入札公告等を敷地内に掲示するとともに、振興会ホームページにおいて、以下の項目を掲載し、入札機会の拡大を図った。

- ・ 競争入札参加に必要な資格について
- ・ 競争参加資格有資格者一覧
- ・ 入札情報（入札公告等）

### 5. 事務の一元化

#### (1) 調達事務の一元化

引き続き、本館・演芸場で使用する消耗品・物品等について、経理部契約課で一元的に調達するとともに、コピー用紙等一部の消耗品について、本館・能楽堂で共通の仕様により調達を行った。

また、政府調達方式による調達・契約については、本館・能楽堂・文楽劇場3館の事務を一元的に実施した。なお、保険契約について、19年度以降に一元化すべく調査検討を行った。

#### (2) インターネット販売の充実等による業務の一元化

独自のインターネットチケット販売システムにより、業務の一元化を図るべく、システムの構築を行った。（19年6月販売開始予定）

- ・ 全劇場の販売情報をチケットセンターホームページに集約し、各劇場が行っていた販売情報管理を一元化する。
- ・ 全劇場のインターネットにおける販売状況を一括管理し、票券管理を一元化する。

### 6. 省エネルギー、リサイクルの推進

#### (1) 光熱水量の削減

主として以下のような取組みにより、光熱水量の削減を図った。

- ・ 事務所部分を中心に、夏季の軽装勤務奨励（クールビズ）及び冷暖房の抑制（設定温度の制限）を実施した。また、能楽堂においては、冷房運転停止時に窓を開放できるよう事務室等の窓に網戸を取り付けた。
- ・ 照明器具等の更新時に、人感センサーの設置や省エネルギータイプへの交換を図った。
- ・ 常時人のいない部屋等の照明に人感センサーを設置し、小まめに消灯するよう呼びかけを行った。
- ・ 東京都条例「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」に基づき、平成21年度にかけて温室効果ガス排出量を抑制するための「地球温暖化対策計画書」を立案し実施に努めるとともに、ホームページに計画書を公表した。

事項	区分	使用量	前年度比
電 気	本館・演芸場	5,662,276kwh	△3.2%
	能楽堂	1,034,950kwh	6.8%
	文楽劇場	2,505,158kwh	△5.3%
	合 計	9,202,384kwh	△2.7%
	本館・演芸場	59,804㎡	△1.3%

ガ ス	能楽堂	86,448 m <sup>3</sup>	△8.6%
	文楽劇場	174,346 m <sup>3</sup>	△17.4%
	合 計	320,598 m <sup>3</sup>	△12.5%
水 道	本館・演芸場	78,858 m <sup>3</sup>	△0.9%
	能楽堂	7,805 m <sup>3</sup>	△3.1%
	文楽劇場	21,681 m <sup>3</sup>	△1.3%
	合 計	108,344 m <sup>3</sup>	△1.1%

(2) 廃棄物の減量化

事務所部分におけるゴミ集積場所に可燃物、不燃物、ビン・缶、ペットボトルの分別箱を設置し、分別を呼びかけた。また、劇場部分の廃棄物収集を含めて清掃委託業者に分別の徹底を指導した。

事項	区分	使用量	前年度比
一般廃棄物	本館・演芸場	430,450kg	36.5%
	能楽堂	8,575kg	△16.3%
	文楽劇場	90,410kg	△6.2%
	合 計	529,435kg	4.7%
再利用廃棄物	本館・演芸場	144,075kg	19.8%
	能楽堂	7,112kg	△15.5%
	文楽劇場	14,680kg	0.2%
	合 計	165,867kg	1.5%
産業廃棄物	本館・演芸場	50,100kg	△6.4%
	能楽堂	102kg	△94.4%
	文楽劇場	5,867kg	△21.8%
	合 計	56,069kg	△10.8%

(3) ペーパーレス化

主として以下のような取組みにより、ペーパーレス化を図った。

- ・ 引き続き、館内LANを介してのグループウェア、内部ホームページの活用を促進し、事務連絡等のペーパーレス化を推進した。
- ・ 会議資料等の両面コピー及び両面印刷を推奨した。また、機器更新に伴い、両面印刷機能のあるプリンタへ交換した。
- ・ 最小限のプリントアウト、コピー使用や作成途中の検討資料等について反故紙の活用を奨励した。

事項	区分	使用量	前年度比
コピー枚数	本館・演芸場	1,784,392枚	1.2%
	能楽堂	204,243枚	△2.0%
	文楽劇場	244,300枚	△13.8%
	合 計	2,232,935枚	△1.0%
	うち管理部門	818,297枚	9.7%
コピー用紙 購入枚数	本館・演芸場	2,963,000枚	22.3%
	能楽堂	440,000枚	25.7%
	文楽劇場	366,000枚	△9.3%
	合 計	3,769,000枚	18.7%

(4) グリーン購入法に基づいた調達

チケット用紙等の特殊な仕様を除き、環境物品等の調達の推進を図るための方針に基づき調達を行った。グリーン購入法に基づいた調達はほぼ100%となっている。

【特記事項】

- ・ 電気料金は、政府調達方式による競争入札の実施や節電努力等により、経費について前年度比△14,390千円の節約となった。
- ・ 光熱水量は、食堂・売店等の使用量を除いている。

7. 効率化対策に関する調査研究

(1) 劇場施設以外の施設の有効活用に関する検討

(伝統芸能情報館レクチャー室等の外部利用)

レクチャー室については、振興会で使用しない時に有効活用を図るため、外部に貸出しができるよう施設使用規程の改正を行った(18年4月1日付け)。

その他、会議室等については、業務での使用頻度が高く、外部の利用に供することについては、引き続き使用状況を勘案しつつ検討を行うこととした。

(2) 外部利用の実績

(伝統芸能情報館レクチャー室)

18年4月1日より外部利用を開始した。18年度は、問合せはあったが、公演記録鑑賞会や観劇前レクチャーなどの業務使用と日程が重なり、利用の実績はなかった。

(能楽堂・大講義室)

出演者及び関係者、一般の利用について、24件60時間の利用があった。

(国立劇場おきなわ・交流プラザ)

会議等一般の利用について、28件57時間の利用があった。

(新国立劇場)

2階ブリッジ及び3階ギャラリーで森英恵が手がけた舞台衣装を世界の各劇場から借用し展示した「森英恵展」を森英恵ファッション文化



				<p>財団との共催で開催した。(3月15日～4月11日) トヨタレクサスLS発表会が中劇場で開催されるのに伴い、その披露パーティー等のためにオペラ劇場ホワイエ等を貸し出すとともに、有効空地の一部を活用した車両等の展示や関連装飾を行った。(9月19日、20日)</p> <p>8. 「行政改革の重要方針」及び国家公務員の給与構造改革を踏まえた取組み (1) 「行政改革の重要方針」を踏まえた取組み 「行政改革の重要方針」(平成17年12月24日閣議決定)を踏まえ、人件費について、平成22年度において、平成17年度の人件費に比較して、5%以上の削減を行うため、平成19年度において概ね2%以上の人件費を削減する。このため、役職員の給与について、国家公務員の給与構造改革を踏まえた見直しを行った。 また、中長期的な職員の採用計画について検討し、今後想定される定年退職者の数等を踏まえ、新規採用の抑制や高齢者雇用制度の活用を図り、人件費の抑制に努めた。</p> <p>(2) 国家公務員の給与構造改革を踏まえた取組み ・ 地場資金の適正な反映を行うため、地域手当の新設と都市手当の廃止を行った。 ・ 年功的な給与上昇の抑制を図るため、俸給表の見直しを行い、本給の平均4.8%の削減を行うとともに、号俸の細分化(4分割)と等級の見直しを行った。 ・ 勤務実績の給与への反映を行うための昇給制度の改正を行った。</p>			
	一般管理費など事務的経費の効率化の達成率	13.5%以上	13.0%以上 13.5%未満	13.0%未満	<p>A: 18年度一般管理費決算額 B: 14年度一般管理費予算額 (A - B) ÷ A = 0.26 ⇒ 26%減 A: 1,099,665千円 B: 1,488,359千円</p>		
	事業費の効率化の達成率	1.5%以上	1.0%以上 1.5%未満	1.0%未満	<p>A: (当該年度事業費予算額(退職手当を除く) - 当該年度特殊要因予算額 - 次年度債務繰越額 + 前年度債務繰越額) ÷ 0.99 B: (当該年度事業費決算額(退職手当を除く) - 当該年度特殊要因決算額) (A - B) ÷ A = 0.01 ⇒ 1%減 (単位: 円)</p> <p>事業費予算額(退職手当を除く) 特殊要因予算額 次年度債務繰越額 前年度債務繰越額 A: ( 10,342,733,000 - 0 - 269,925,940 + 393,301,798 ) ÷ 0.99 = 10,571,827,129</p> <p>事業費決算額(退職手当を除く) 特殊要因決算額 B: 10,466,108,858 - 0 = 10,466,108,858</p>	B	
1-2. 効率化の進捗状況をふまえた組織機構の検討	組織機構の在り方の検討状況	振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する			<p>1. 新国立劇場情報センターの業務委託 新国立劇場情報センターの業務を18年4月1日より、新国立劇場運営財団に委託した。 新国立劇場運営財団においては、組織変更が行われ、財団総務部に新たに広報情報課が設置され、新国立劇場情報センターの業務を担うとともに、情報収集と劇場全体の広報について公演事業部門と連携し、一元的に実施する体制の強化が図られた。</p> <p>2. 人員配置の検討 適正な人事異動を行い、人件費削減への対応及び効率的な業務運営を行うため、人員配置の見直しを行った。 この結果、管理部門を中心に人員を削減するとともに、事業部門の一部拡充を図り、サービスの向上に配慮した。主なものとして、経理部が32名より30名に、基金部が14名より13名に、新国立劇場部が15名より6名になるなど、全体として321名から308名へ減員となった。(18年4月1日現在) また、引き続き、主席芸能調査役、主任専門員、専門員等を置き、職員の専門性の確保に努めた。</p>	A	
2. 外部評価の実施、職員意識改革	外部評価の実施状況	振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する			<p>1. 自己点検評価の実施 (1) 17年度の業務実績に関する自己点検評価について 18年2～3月 各公演専門委員会、事業委員会等において事業に対する意見聴取を実施 3～4月 各部において自己点検評価を実施 4～5月 計画課を中心に自己点検評価を取りまとめ 5月8日 役員会において審議決定 6月30日 評議員会において、17年度の業務の実績に関する評価を審議・決定 (2) 18年度の業務実績に関する自己点検評価について 自己点検評価は膨大な作業量を要するため、公演事業等について、四半期ごとに自己点検評価を実施し取りまとめることにより業務を分散させ、負担の軽減を図った。</p> <p>2. 評議員会、評価委員会等の開催 【評議員会】3回開催: 第9回(6/30)、第10回(10/16)、第11回(3/29)(議題等) ・ 17年度評価及び17年度決算についての審議 ・ 17年度評価結果、評価結果への対応について報告 ・ 18年度計画実施状況の報告 ・ 19年度計画について審議等 【評価委員会】4回開催: 第10回(4/14)、第11回(6/16)、第12回(6/23)、第13回(11/28)</p>	A A A	<p>全般的に、着実に成果があがっているものと認められるが、部門によって評価の仕方に差が生じている印象を受ける。なお、公演事業等に係る自己点検評価を四半期ごととして負担の軽減を図ったことは適切と考えられる。 また、劇場40周年にちなんだ職員の特別研修を実施したことも適切といえる。今後とも、更に意識改革を進めていくことが望まれる。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】 ・ 新国立劇場運営財団の評価委員会廃止は効率化の点で英断であったと思われるが、評価体制の簡略化に伴うリスクがないか、注意することが望ましい。</p> <p>・ 公演事業の外部評価につき、部門によっては、国立劇場に相応しい公演のための、より建設的な意見が求められよう。</p>

(議題等)

- ・ 17年度評価の実施
- ・ 16年度評価結果への対応についての報告
- ・ 18年度計画についての説明
- ・ 17年度評価結果についての報告等

(視察)

- ・ 新国立劇場演劇研修所の視察を実施 (11/21)
- ・ 組踊研修等 (国立劇場おきなわ) の視察を実施 (1/14～1/16)

(改選等)

- ・ 評価委員の改選を行った (7名中1名、10/1付け)

3. 公演専門委員会、事業委員会、芸術文化振興基金運営委員会の開催

【公演専門委員会】

(開催状況)

- ・ 歌舞伎公演専門委員会 2回開催 (6/19・3/23)
- ・ 文楽公演専門委員会 (本館) 2回開催 (6/14・3/14)
- ・ 舞踊公演専門委員会 2回開催 (6/8・3/14)
- ・ 邦楽公演専門委員会 2回開催 (6/14・3/16)
- ・ 雅楽・声明公演専門委員会 2回開催 (6/2・3/27)
- ・ 民俗芸能公演専門委員会 2回開催 (6/8・3/23)
- ・ 大衆芸能公演専門委員会 2回開催 (6/28・3/28)
- ・ 能楽公演専門委員会 2回開催 (2/6・3/8)
- ・ 文楽劇場文楽公演専門委員会 2回開催 (5/25・3/8)
- ・ 文楽劇場短期公演等専門委員会 2回開催 (6/12・3/13)

(議題等)

- ・ 18年度計画、公演事業計画についての説明
- ・ 17年度評価結果についての報告
- ・ 18年度計画に対する公演事業の達成状況についての意見聴取
- ・ 19年度計画についての説明等

【事業委員会】

(開催状況)

- ・ 養成事業委員会 1回開催 (3/22)
- ・ 調査事業委員会 1回開催 (7/4)

(議題等)

- ・ 17年度評価結果についての報告
- ・ 18年度計画に対する事業の達成状況についての意見聴取
- ・ 19年度計画についての説明等

(視察)

- ・ 既成者研修発表会、養成研修発表会・修了発表会の視察を実施 (養成事業委員会)

【芸術文化振興基金運営委員会】 3回開催：第9回 (9/6)、第10回 (1/25)、第11回 (3/12)

(議題等)

- ・ 19年度助成活動の審査の附託
- ・ 19年度助成活動の決定
- ・ 改善意見についての審議等

4. 評価結果への対応

17年度の業務の実績に関する評価において指摘された意見等について、各部において対応を検討し、一部については18年度の事業へ反映させるとともに、可能な限り19年度計画への反映を図った。また、評議員会及び評価委員会へ報告を行った。

職員に対する研修の実施状況

振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する

1. 内部研修を次のとおり実施した。

新人職員研修、若手職員に対する公演制作・舞台業務研修、セカンドライフ研修、クレーム応対実践研修、管理職職員・職員業務研修、劇場40周年にちなむ職員のための特別研修、メンタルヘルス及びセクシャルハラスメント防止研修、接遇ブラッシュアップ研修、ほか (参加者延べ601人)

2. 外部の研修へ次のとおり職員を派遣した。

(1) 人事関係  
職員相談員実務研修会、文部科学省文教団体共同職員研修会、全国就職指導ガイダンス、人権に関する国家公務員等研修会、国における人事制度の見直し等に関する説明会、ほか (参加者延べ46人)

(2) 会計関係  
政府関係法人会計事務職員研修、公共工事入札契約適正化法等に関する講習会、各政府関係機関等内部監査業務講習会 (参加者延べ3人)

(3) IT関係  
毎日就職ナビ活用講習会、情報公開・個人情報制度の運営に関する説明会、行政機関及び独立行政法人等のための個人情報保護セミナー、ほか (参加者延べ11人)

(4) 芸術・文化関係  
著作権セミナー、国際研究集会、全国公立文化施設アートマネジメント研修会、文化政策・地域文化振興フォーラム、ほか (参加者延べ25人)

A

		<p>(5) その他</p> <p>電話・応対接遇セミナー、独立行政法人経営改革セミナー、エネルギー管理員新規講習、評価・監査中央セミナー、経営の効率化等に貢献するためのセミナー、ほか（参加者延べ10人）</p> <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国立劇場おきなわ運営財団職員研修の実施（37日間、参加者延べ14人） 新たに運営財団へ派遣された職員を対象として、振興会（東京）において劇場運営に関する業務研修を実施し、能力の向上とともに振興会との連携の強化を図った。</li> </ul>		
--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

中期計画の各項目	指標又は評価項目	評 定 基 準			指標又は評価項目に係る実績	評 定																																																																									
		A	B	C		段階的評定	定 性 的 評 定 等																																																																								
1. 芸術文化活動に対する支援	(1)-1 芸術家及び芸術団体等が実施する活動に対する助成	<p>振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する</p> <p>※Sについては、客観的基準を事前に設けず、法人の業務の特性に応じて評定を付す。また、Fについても、客観的基準を事前に設けず、業務改善の勧告が必要と判断された場合、その評定を付す。 【以下、全ての項目について同様】</p>			<p>1. 助成金の交付実施状況</p> <p>(1) 18年度助成金の交付実績</p> <p>① 舞台芸術振興事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象分野</th> <th>交付件数</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音 楽</td> <td>15件</td> <td>154,300千円</td> </tr> <tr> <td>舞 踊</td> <td>20件</td> <td>80,000千円</td> </tr> <tr> <td>演 劇</td> <td>38件</td> <td>228,600千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>73件</td> <td>462,900千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 芸術文化振興基金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象分野</th> <th>交付件数</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術創造普及活動</td> <td>348件</td> <td>1,135,000千円</td> </tr> <tr> <td>地域文化振興活動</td> <td>197件</td> <td>267,500千円</td> </tr> <tr> <td>文化振興普及団体活動</td> <td>177件</td> <td>163,400千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>722件</td> <td>1,565,900千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 18年度助成対象活動の募集実績</p> <p>① 舞台芸術振興事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象分野</th> <th>応募件数</th> <th>採択件数</th> <th>交付予定額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音 楽</td> <td>123件</td> <td>17件</td> <td>152,000千円</td> </tr> <tr> <td>舞 踊</td> <td>68件</td> <td>19件</td> <td>83,400千円</td> </tr> <tr> <td>演 劇</td> <td>248件</td> <td>46件</td> <td>215,600千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>439件</td> <td>82件</td> <td>451,000千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 芸術文化振興基金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象分野</th> <th>応募件数</th> <th>採択件数</th> <th>交付予定額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術創造普及活動</td> <td>965件</td> <td>421件</td> <td>1,167,600千円</td> </tr> <tr> <td>地域文化振興活動</td> <td>316件</td> <td>234件</td> <td>335,900千円</td> </tr> <tr> <td>文化振興普及団体活動</td> <td>264件</td> <td>174件</td> <td>171,500千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,545件</td> <td>829件</td> <td>1,675,000千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：芸術創造普及活動については、映画の製作活動第2回募集分は含まれていない。</p> <p>③ 募集案内の作成に当たっては、「舞台芸術振興事業」と「芸術文化振興基金」の趣旨を分かりやすく表紙に明記し、応募者に対してそれぞれの募集の趣旨が明確となるよう努めた。</p> <p>(3) 助成対象活動の募集に当たっては以下の点に考慮の上で実施。 ア 芸術団体等の自主性を尊重し、活動目的及び内容等に関する助言については、極めて慎重に対応する。また、助成金交付要望書の記入について、引き続き相談期間を設けて対応する。 イ 都道府県経由で応募のあった地域文化活動及び文化振興普及団体活動について、都道府県担当者からのヒアリングを実施する。</p>	対象分野	交付件数	交付金額	音 楽	15件	154,300千円	舞 踊	20件	80,000千円	演 劇	38件	228,600千円	合 計	73件	462,900千円	対象分野	交付件数	交付金額	芸術創造普及活動	348件	1,135,000千円	地域文化振興活動	197件	267,500千円	文化振興普及団体活動	177件	163,400千円	合 計	722件	1,565,900千円	対象分野	応募件数	採択件数	交付予定額	音 楽	123件	17件	152,000千円	舞 踊	68件	19件	83,400千円	演 劇	248件	46件	215,600千円	合 計	439件	82件	451,000千円	対象分野	応募件数	採択件数	交付予定額	芸術創造普及活動	965件	421件	1,167,600千円	地域文化振興活動	316件	234件	335,900千円	文化振興普及団体活動	264件	174件	171,500千円	合 計	1,545件	829件	1,675,000千円	A	A	A	<p>支援事業は、審査及び公表等の情報提供を含め、円滑に進められているものと認められる。申請受理から交付決定までの期間の短縮には、更に一層の進展が見られる。また、基金の運用についても、格段の成果があがっているものと認められる。今後とも、交付事務の一層の効率化、簡素化に努めることが望まれるとともに、基金の運用についても、安全性に十分配慮しつつ、効果的に行われることが期待される。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審査委員には、制作の実務に詳しく、数字が読める人を複数起用することが望まれる。</li> <li>・4つの委員会が、文化庁の芸術創造活動重点支援事業協力者会議と共同開催されたことは、能率化の点で多とするが、両者の規模・意図の相違の弁別化意識が透明であることが望まれる。</li> <li>・助成対象活動に対する調査については、公演等調査が増加していることは評価できるが、会計調査の件数の改善が望まれる。</li> </ul>
	対象分野	交付件数	交付金額																																																																												
	音 楽	15件	154,300千円																																																																												
舞 踊	20件	80,000千円																																																																													
演 劇	38件	228,600千円																																																																													
合 計	73件	462,900千円																																																																													
対象分野	交付件数	交付金額																																																																													
芸術創造普及活動	348件	1,135,000千円																																																																													
地域文化振興活動	197件	267,500千円																																																																													
文化振興普及団体活動	177件	163,400千円																																																																													
合 計	722件	1,565,900千円																																																																													
対象分野	応募件数	採択件数	交付予定額																																																																												
音 楽	123件	17件	152,000千円																																																																												
舞 踊	68件	19件	83,400千円																																																																												
演 劇	248件	46件	215,600千円																																																																												
合 計	439件	82件	451,000千円																																																																												
対象分野	応募件数	採択件数	交付予定額																																																																												
芸術創造普及活動	965件	421件	1,167,600千円																																																																												
地域文化振興活動	316件	234件	335,900千円																																																																												
文化振興普及団体活動	264件	174件	171,500千円																																																																												
合 計	1,545件	829件	1,675,000千円																																																																												
(1)-2 助成金交付事務の効率化・簡素化状況	<p>振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する</p>	<p>(4) 助成金交付事務の効率化・簡素化状況</p> <p>部内決裁を見直すなど事務の効率化・簡素化を行い、助成金交付申請書受理から交付決定までの期間について短縮を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>実 績</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舞台芸術振興事業</td> <td>41.7日</td> <td rowspan="3">53日以内</td> </tr> <tr> <td>芸術文化振興基金</td> <td>42.1日</td> </tr> <tr> <td>平 均</td> <td>42.0日</td> </tr> </tbody> </table>			区 分	実 績	目 標	舞台芸術振興事業	41.7日	53日以内	芸術文化振興基金	42.1日	平 均	42.0日	A																																																																
区 分	実 績	目 標																																																																													
舞台芸術振興事業	41.7日	53日以内																																																																													
芸術文化振興基金	42.1日																																																																														
平 均	42.0日																																																																														
交付申請書受理から交付決定までの期間の効率化の達成状況	53日未満	53日以上 68日未満	68日以上	実績 42.0日/目標53日以内 (達成度126.2%)	A																																																																										
(2) 審査における客観性及び透明性を確保するための体制の整備等	<p>振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する</p>	<p>2. 助成金の交付に関する体制の整備について</p> <p>(1) 舞台芸術振興事業助成金交付要綱及び同取扱細則並びに芸術文化振興基金助成金交付要綱及び同取扱細則を、ホームページにおいて公表。 (2) 18年度助成対象活動の決定に関する公表状況</p> <p>① 18年4月6日付で助成対象活動の決定について公表し、公表資料をホームページに掲載。 ② 広報誌「芸術文化振興基金No.21」(6月30日発行)に助成対象活動一覧のほか審査経過等を掲載し、同誌をホームページに掲載。</p> <p>(3) 19年度助成対象活動の審査状況</p> <p>芸術文化振興基金運営委員会及び4つの部会、11の専門委員会において、以下のとおり審査を行った。</p> <p>なお、音楽・舞踊・演劇の各専門委員会については、文化庁芸術創造活動重点支援事業協力者会議と共同開催するとともに、舞台芸術振興事業と芸術文化振興基金の趣旨を再確認し、舞台芸術振興事業についてはその趣旨に沿って活動を選定するよう審査を行った。また、映画専門委員会については、文化庁文化芸術振興費補助金審査委員会と共同開催した。</p> <p>① 舞台芸術等部会 (2回開催・2月、3月) 音楽専門委員会 (2回開催・12月、2月)、舞踊専門委員会 (2回開催・12月、2月)、</p>			A																																																																										

- 演劇専門委員会（2回開催・12月、2月）、伝統芸能専門委員会（2回開催・12月、2月）、美術専門委員会（2回開催・12月、2月）
- ② 映像芸術部会（1回開催・3月）
- 劇映画専門委員会（2回開催・12月、3月）、記録映画専門委員会（2回開催・12月、2月）、アニメーション映画専門委員会（2回開催・12月、3月）
- ③ 地域文化・文化団体活動部会（1回開催・2月）
- 地域文化活動専門委員会（2回開催・11月、2月）、文化団体活動専門委員会（2回開催・11月、2月）
- ④ 文化財部会（1回開催・3月）
- 文化財保存活用専門委員会（2回開催・11月、2月）
- ⑤ 審査経過概要

11月中旬～12月下旬	各専門委員会において「専門委員会における審査の方法等について」を審議、決定。
1月初旬～2月初旬	各専門委員会による応募活動1件ごとの事前審査。
2月1日	運営委員会を開催し、応募状況についての報告及び助成金の分野別配分について審議、決定。
2月初旬～3月中旬	各専門委員会において専門委員の事前審査結果をもとに、合議により、助成金交付要望書の審査及び助成対象活動を選定。
3月初旬～3月下旬	各部会において助成対象活動の採否及び助成金額の審議。
3月29日	運営委員会を開催し、助成対象活動について審議、決定。 18年4月6日付で公表。

(3) 基金の管理運用

振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する

3. 芸術文化振興基金の管理運用

(1) 運用実績

- ① 運用益 1,818,565千円（当初計画1,797,075千円、21,490千円の増収）
- ② 利回り 2.80%（当初計画2.76%）

(2) 資金内容及び経済情勢の把握

平成18年度は基金運用資金649億円のうち、25億円（事業債5億円、外国債20億円）が償還され、再運用を行った。また、基金資金の運用先である複数の金融機関から多くの情報を収集することで資金内容及び経済情勢の把握に努めた。

(3) 運用方針の検討状況

18年度基金資金の運用については、現在の経済情勢を考慮すると、しばらくは国内債の低金利状況は継続すると考えられたことから、当初見込んでいた国債よりも比較的高い利回りである財投機関債等に再投資を行うこととした。なお、将来の償還額が毎年度概ね均等になるように再運用を行うこととした。

A

(4)-1 助成対象活動の実施状況等の調査

振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する

4. 助成対象活動等に対する調査

(1) 助成対象活動に対する調査

- ① 会計調査：54件（調査活動件数：158件）
- ② 公演等調査：228件
- ③ 合計：282件（目標：180件、調査活動件数合計：386件）

交付内定通知書の送付に際して助成金交付決定の取消し等に至った具体的事例を添付し、芸術文化振興基金ホームページに不適切な事例を掲載した。

(2) 外部委託により、芸術文化振興基金の今後の方向性と望ましい助成制度の在り方についての調査を実施。

(3) 助成対象活動に係る「助成の効果」について、18年度助成対象活動実績報告書に記載された内容の整理、分類を実施。

集計結果：調査対象件数795件（複数回答を含む）

事 項	件 数
設備の整った会場の確保、舞台装置等の充実を図ることができた	254件
外部から質の高いスタッフ・キャスト・展示品等を確保することができた	206件
宣伝広告等の広報活動を充実させることができた	167件
当初の計画通りに事業が実施できた	137件
助成金を受けていることで公演活動に対する信頼が増し、団体の外部評価が向上した	137件
団体（団員等）の経費負担が軽減され、充実した稽古を行うなど活動に専念できた	136件
入場料の軽減等により幅広い層の観客を集めることができた	114件
文芸費等の充実により公演内容の向上を図ることができた	96件
地方における芸術文化の活性化に寄与できた	81件
創造的・実験的活動が実施できた	49件
地域文化財等についての普及・啓発、記録保存の充実が図られた	26件
地域住民参加による活動が実施できた	24件
今後の活動における向上心、発展性につながった	17件
活動地域の文化団体と他の地方文化団体との交流促進に寄与できた	15件
伝統芸能・伝統技術の承継、民俗芸能の復活に役立った	14件
国際交流の発展及び振興が図られた	10件
合 計	1,483件

A

A

	<p>(4)-2 芸術団体等に対する各種情報等の提供</p>	<p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する</p>	<p>5. 広報活動</p> <p>(1) 基金による助成事業の概要等を紹介したチラシ（3種類）を作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成事業の概要を紹介したパンフレット（2つ折り）を作成・配布</li> <li>・ 映画の製作活動助成を紹介したチラシを作成・配布</li> <li>・ 芸術文化振興基金助成対象活動PRチラシを作成・配布</li> </ul> <p>(2) 広報誌「芸術文化振興基金No.21」を発行（6月30日）し、18年度助成対象活動の決定等の記事掲載。</p> <p>(3) 「日本芸術文化振興会ニュース」及び「文化庁月報」へ、基金の概要、助成対象活動の募集案内等の記事掲載（毎月）</p> <p>(4) 19年度募集案内広告掲載誌（20誌、10月上旬～11月下旬）</p> <p>(5) NHK（に対する19年度募集案内広告放送（10月下旬）を地方支局へ依頼（54局）</p> <p>(6) 19年度募集案内ポスターを配布（新たに全国の公立文化施設に送付し、広報協力を依頼）</p> <p>(7) 19年度助成対象活動募集説明会の開催</p> <p>（大阪）9月28日：芸術創造普及活動等対象（芸術団体等対象、会場・プリムローズ大阪）</p> <p>（東京）9月22日：地域文化振興活動・文化振興普及団体等対象</p> <p>（都道府県担当者対象、会場・伝統芸能情報館）</p> <p>10月3日：芸術創造普及活動等対象（芸術団体等対象、会場・こまばエミナースホール）</p> <p>10月4日：芸術創造普及活動等対象（芸術団体等対象、会場・こまばエミナースホール）</p> <p>10月11日：映画の製作活動対象（芸術団体等対象、会場・こまばエミナースホール）</p> <p>(8) 募集説明会の他都市開催についての要望状況調査を実施</p> <p>調査対象（過去5年間の応募実績団体）：3,647件 回答：1,478件</p> <p>他都市開催要望：55件（3.72%）うち最も要望が多かった都市：名古屋11件（0.74%）</p> <p>(8) 基金部ホームページの充実</p> <p>① 都道府県に対して、基金ホームページへのリンクを要請</p> <p>② ホームページの構成を刷新し、ホームページの利便性を向上</p> <p>③ 18年度アクセス件数 実績：150,758件（目標：100,000件）</p>	A																																																																			
	<p>ホームページへのアクセスの達成状況</p>	<table border="1"> <tr> <td>100,000件以上</td> <td>70,000件以上 100,000件未満</td> <td>70,000未満</td> </tr> </table>	100,000件以上	70,000件以上 100,000件未満	70,000未満	<p>実績150,758件/目標100,000件（達成度150.8%）</p>	A																																																																
100,000件以上	70,000件以上 100,000件未満	70,000未満																																																																					
<p>2. 伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演</p>	<p>(1) 伝統芸能の公開</p>	<p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する</p>	<p>1. 公演実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>公演数</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歌舞伎</td> <td>5公演</td> <td>115回</td> <td>110日</td> <td>142,910人(92.0%)</td> <td>102,100人(66.1%)</td> </tr> <tr> <td>文楽</td> <td>8公演</td> <td>338回</td> <td>149日</td> <td>143,044人(64.6%)</td> <td>135,000人(63.7%)</td> </tr> <tr> <td>舞踊・邦楽・雅楽・声明</td> <td>20公演</td> <td>32回</td> <td>26日</td> <td>19,836人(81.7%)</td> <td>18,100人(74.9%)</td> </tr> <tr> <td>民俗芸能・特別企画</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大衆芸能</td> <td>67公演</td> <td>328回</td> <td>294日</td> <td>52,908人(56.1%)</td> <td>39,900人(43.5%)</td> </tr> <tr> <td>能楽</td> <td>50公演</td> <td>52回</td> <td>51日</td> <td>30,406人(93.3%)</td> <td>29,000人(94.9%)</td> </tr> <tr> <td>組踊等沖縄伝統芸能</td> <td>30公演</td> <td>38回</td> <td>36日</td> <td>13,966人(61.0%)</td> <td>13,900人(60.0%)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>180公演</td> <td>903回</td> <td>666日</td> <td>403,070人(73.2%)</td> <td>338,000人(63.0%)</td> </tr> <tr> <td>青少年等鑑賞教室</td> <td>5公演</td> <td>154回</td> <td>78日</td> <td>148,385人(84.0%)</td> <td>148,200人(84.0%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>185公演</td> <td>1,057回</td> <td>744日</td> <td>551,455人(75.8%)</td> <td>486,200人(68.2%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 演目の拡充</p> <p>(1) 復活上演候補演目の調査研究</p> <p>第1回調査検討委員会（平成19年3月15日）開催。候補作品である「誦競艶仲町」について、序幕の第一稿が提示された。</p> <p>(2) 新作脚本の募集</p> <p>① 新作歌舞伎脚本</p> <p>応募作品（183篇）の選考を6月17日に実施。3篇が佳作に決定。</p> <p>佳作：「紺青鬼」（藤田恵子）、「人情話 甘ったれ鬼」（篠崎隆雄）、「豊寿丸変相」（森山治男）</p> <p>財団法人清栄会による奨励賞は、2篇に決定。</p> <p>奨励賞：「月光戀華陽雲」（岡庭菜穂）、「恋募靴緋入初添」（堀内裕介）</p> <p>② 新作大衆芸能脚本（講談）</p> <p>8月に募集（応募35篇）、3篇が佳作に決定。</p> <p>佳作：「人情深川紅白粉」（紫喜三郎）、「火消しと男爵」（志賀虚舟）、「下谷指切り地蔵」（山地常司）</p> <p>また、財団法人清栄会による奨励賞は、以下に決定した。</p> <p>奨励賞：堀内裕介</p> <p>3. 外部団体との連携・協力、地方における上演</p> <p>① 芸術祭主催公演7公演、協賛公演22公演（うち1公演は既成者研修発表会）を実施した。</p> <p>② 鑑賞教室公演における地方自治体・教育委員会等の後援・協力、社会人公演における経済団体等の後援、5月舞踊公演における社団法人日本舞踊協会の協力、1月民俗芸能公演における徳島県の協力、文楽劇場公演における関西元気文化圏共催事業等への協力・参加、国立劇場おきなわ10月企画公演における文化庁国際舞台芸術フェスティバル実行委員会の共催を得た。</p>	分野	公演数	回数	日数	入場者数	目標	歌舞伎	5公演	115回	110日	142,910人(92.0%)	102,100人(66.1%)	文楽	8公演	338回	149日	143,044人(64.6%)	135,000人(63.7%)	舞踊・邦楽・雅楽・声明	20公演	32回	26日	19,836人(81.7%)	18,100人(74.9%)	民俗芸能・特別企画						大衆芸能	67公演	328回	294日	52,908人(56.1%)	39,900人(43.5%)	能楽	50公演	52回	51日	30,406人(93.3%)	29,000人(94.9%)	組踊等沖縄伝統芸能	30公演	38回	36日	13,966人(61.0%)	13,900人(60.0%)	小計	180公演	903回	666日	403,070人(73.2%)	338,000人(63.0%)	青少年等鑑賞教室	5公演	154回	78日	148,385人(84.0%)	148,200人(84.0%)	合計	185公演	1,057回	744日	551,455人(75.8%)	486,200人(68.2%)	A	<p>A</p> <p>全般的に国立劇場の役割を踏まえて企画意図に沿った公演の制作実施等が行われ、効果が上がっている。また、演目に工夫があり、舞台水準も高く、国立劇場40周年記念行事を中心に空前の活況を呈したと評価できる。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の上演実績が今後の指針となるので、上演企画</li> <li>・ 内容の点でさらなる進化が課題となる。</li> </ul> <p>・ 広報宣伝に工夫を凝らす等により、若い観客層の取り込みや夜の部の集客等に引き続き努めることが望まれる。</p>
分野	公演数	回数	日数	入場者数	目標																																																																		
歌舞伎	5公演	115回	110日	142,910人(92.0%)	102,100人(66.1%)																																																																		
文楽	8公演	338回	149日	143,044人(64.6%)	135,000人(63.7%)																																																																		
舞踊・邦楽・雅楽・声明	20公演	32回	26日	19,836人(81.7%)	18,100人(74.9%)																																																																		
民俗芸能・特別企画																																																																							
大衆芸能	67公演	328回	294日	52,908人(56.1%)	39,900人(43.5%)																																																																		
能楽	50公演	52回	51日	30,406人(93.3%)	29,000人(94.9%)																																																																		
組踊等沖縄伝統芸能	30公演	38回	36日	13,966人(61.0%)	13,900人(60.0%)																																																																		
小計	180公演	903回	666日	403,070人(73.2%)	338,000人(63.0%)																																																																		
青少年等鑑賞教室	5公演	154回	78日	148,385人(84.0%)	148,200人(84.0%)																																																																		
合計	185公演	1,057回	744日	551,455人(75.8%)	486,200人(68.2%)																																																																		

③ 受託による公演を3公演、地方における公演を4公演実施した。

4. 外部専門家等の意見

「元禄忠臣蔵」の3ヶ月の上演については、高く評価したい。再演を望みたい。  
上演時間、主人公、テーマ等を考慮して、上演形態を工夫することは、高く評価できる。  
上演機会の少ない演目の上演、研究者・演奏者の育成など、国立劇場の使命を果たす企画である。

5. アンケート調査

分野	実施回数	回答数	回収率(配布数)	概ね満足の回答(回答数)
歌舞伎	5回	4,608人	78.9%(5,838人)	89.3%(4,116人)
文楽	9回	1,739人	45.0%(3,868人)	91.4%(1,589人)
舞踊・邦楽・雅楽・声明	13回	5,245人	71.2%(7,365人)	86.3%(4,525人)
民俗芸能・特別企画				
大衆芸能	16回	1,490人	32.3%(4,606人)	90.8%(1,353人)
能楽	7回	1,714人	46.2%(3,711人)	85.1%(1,458人)
組踊等沖縄伝統芸能	26回	3,416人	60.1%(5,680人)	81.9%(2,799人)
青少年等鑑賞教室	4回	2,149人	82.3%(2,611人)	88.8%(1,908人)
合計	80回	20,361人	60.5%(30,679人)	87.2%(17,748人)

【特記事項】

「社会人のための歌舞伎入門・鑑賞教室」を実施(6・7月に計4回実施、入場者数3,286人)  
「社会人のための文楽鑑賞教室」を実施(12月に2回実施、入場者数1,103人)  
能楽堂に座席字幕装置を設置し、11月定例公演(11月17日)より、蠟燭能以外の全公演で座席字幕システムを日本語と英語の2チャンネルで実施した。  
3月歌舞伎公演は初めて花道を設置せずに、傾斜のついた抽象的な構成舞台により上演した。

・歌舞伎

振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する

(1) 10月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵(第一部)」

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期間	回数	日数	入場者数	目標
10月4日(水)～27日(金)	23回	23日	33,607人(96.1%)	22,800人(65.2%)

○ 会場 本館大劇場

○ 入場料 ※( )内は学生料金

特別席12,000円(8,400円)、1等A9,200円(6,400円)、1等B6,100円(4,300円)、2等2,500円(1,800円)  
3等1,500円(1,100円)、障害者2割引

(2) 11月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵(第二部)」

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期間	回数	日数	入場者数	目標
11月3日(金)～26日(日)	23回	23日	29,003人(83.0%)	22,800人(65.2%)

○ 会場 本館大劇場

○ 入場料 ※( )内は学生料金

特別席12,000円(8,400円)、1等A9,200円(6,400円)、1等B6,100円(4,300円)、2等2,500円(1,800円)  
3等1,500円(1,100円)、障害者2割引

(3) 12月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵(第三部)」

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期間	回数	日数	入場者数	目標
12月3日(日)～26日(火)	24回	23日	35,275人(96.7%)	22,800人(62.5%)

○ 会場 本館大劇場

○ 入場料 ※( )内は学生料金

特別席12,000円(8,400円)、1等A9,200円(6,400円)、1等B6,100円(4,300円)、2等2,500円(1,800円)  
3等1,500円(1,100円)、障害者2割引

(4) 1月歌舞伎公演「通し狂言 梅初春五十三驛(うめのはるごじゅうさんつぎ)」

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期間	回数	日数	入場者数	目標
1月3日(水)～27日(土)	24回	24日	33,220人(91.1%)	23,800人(65.2%)

○ 会場 本館大劇場

○ 入場料 ※( )内は学生料金

特別席12,000円(8,400円)、1等A9,200円(6,400円)、1等B6,100円(4,300円)、2等2,500円(1,800円)  
3等1,500円(1,100円)、障害者2割引

(5) 3月歌舞伎公演「初瀬・豊寿丸 蓮絲恋慕曼荼羅(はちすのいとこいのまんだら)」

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期間	回数	日数	入場者数	目標
3月9日(金)～25日(日)	21回	17日	11,805人(95.3%)	9,900人(79.9%)

○ 会場 本館小劇場

S

全公演とも、開場40周年記念にふさわしく、かつ、国立劇場の役割を踏まえた企画意図に沿って制作・実施されたものと認められる。特に、「元禄忠臣蔵」の一通し上演、復活狂言「梅初春五十三驛」、新作歌舞伎狂言「蓮絲恋慕曼荼羅」の企画はいずれも高く評価される。また、全公演において、入場者数が目標値を達成しており、その設定も適切と考えられる。

【より良い事業とするための意見等】

毎年好調を持続することは難しい面があるが、古典の保存と発掘、古い革袋に新しさを盛り込むという国立劇場の理念を引き続き追求し、成果を上げることが望まれる。

	<p>入場者数の達成状況</p> <table border="1"> <tr> <td>102,100人以上</td> <td>71,470人以上 102,100人未満</td> <td>71,470人未満</td> </tr> </table>	102,100人以上	71,470人以上 102,100人未満	71,470人未満	<p>○ 入場料 ※( )内は学生料金 1等10,000円(7,000円)、2等8,000円(5,600円)、障害者2割引</p> <p>実績142,910人/目標102,100人(達成度140.0%)</p>	A																																																																			
102,100人以上	71,470人以上 102,100人未満	71,470人未満																																																																							
<p>・文 楽</p>	<p>振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する</p>	<p>(1) 4月文楽公演(第1部)「寿柱立万歳」、六世鶴澤燕三襲名披露狂言「ひらかな盛衰記」、「勲進帳」(第2部)「菅原伝授手習鑑」※13日より第1部・第2部の演目を入れ替え。</p> <p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月1日(土)～23日(日)</td> <td>44回</td> <td>22日</td> <td>15,997人(49.7%)</td> <td>17,400人(54.1%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 会場 文楽劇場</p> <p>○ 入場料 ※( )内は学生料金 1等5,800円(4,100円)、2等2,300円、障害者2割引</p> <p>(2) 5月文楽公演(第1部)「寿柱立万歳」「ひらかな盛衰記」「艶容女舞衣」「契情倭莊子」(第2部)「義経千本桜」「生写朝顔話」</p> <p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月12日(金)～28日(日)</td> <td>34回</td> <td>17日</td> <td>17,472人(91.8%)</td> <td>18,000人(94.5%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 会場 本館小劇場</p> <p>○ 入場料 ※( )内は学生料金 1等6,500円(4,600円)、2等5,200円(2,600円)、3等1,500円(1,100円)、障害者2割引</p> <p>(3) 7・8月文楽公演(第1部)「増補大江山」「解説 文楽はおもしろい」「恋女房染分手綱」(第2部)「夏祭浪花鑑」「連獅子」(第3部)「解説 おおさかの入ひと そして文楽」「夫婦善哉」</p> <p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月21日(金)～8月9日(水)</td> <td>57回</td> <td>19日</td> <td>19,612人(47.1%)</td> <td>18,400人(44.2%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 会場 文楽劇場</p> <p>○ 入場料 ※( )内は学生料金 一般4,600円(2,300円)、子供1,800円、障害者2割引</p> <p>(4) 9月文楽公演「通し狂言 仮名手本忠臣蔵」</p> <p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月8日(金)～24日(日)</td> <td>51回</td> <td>17日</td> <td>25,998人(91.0%)</td> <td>18,000人(94.5%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 会場 本館小劇場</p> <p>○ 入場料 ※( )内は学生料金 1等5,700円(4,000円)、2等4,700円(2,400円)、3等1,500円(1,100円)、障害者2割引</p> <p>(5) 11月文楽公演(第1部)「心中天網島」(第2部)「伊賀越道中双六」「紅葉狩」</p> <p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月4日(土)～11月26日(日)</td> <td>44回</td> <td>22日</td> <td>16,924人(52.6%)</td> <td>16,200人(50.4%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 入場料 ※( )内は学生料金 1等5,800円(4,100円)、2等2,300円、通し割引(1等一般のみ)9,800円、障害者2割引</p> <p>(6) 12月文楽公演「義経千本桜」</p> <p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月5日(火)～17日(日)</td> <td>13回</td> <td>13日</td> <td>6,116人(84.0%)</td> <td>5,400人(74.2%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 会場 本館小劇場</p> <p>○ 入場料 ※( )内は学生料金 1等5,700円(4,000円)、2等4,700円(2,400円)、3等1,500円(1,300円)、障害者2割引</p> <p>(7) 初春文楽公演(第1部)「花競四季寿」「御所桜堀川夜討」「壺坂観音霊験記」(第2部)「二人禿」「囀山姥」「冥途の飛脚」</p> <p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月3日(水)～1月26日(木)</td> <td>44回</td> <td>22日</td> <td>19,578人(60.9%)</td> <td>19,300人(60.0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 会場 文楽劇場</p>	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	4月1日(土)～23日(日)	44回	22日	15,997人(49.7%)	17,400人(54.1%)	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	5月12日(金)～28日(日)	34回	17日	17,472人(91.8%)	18,000人(94.5%)	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	7月21日(金)～8月9日(水)	57回	19日	19,612人(47.1%)	18,400人(44.2%)	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	9月8日(金)～24日(日)	51回	17日	25,998人(91.0%)	18,000人(94.5%)	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	11月4日(土)～11月26日(日)	44回	22日	16,924人(52.6%)	16,200人(50.4%)	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	12月5日(火)～17日(日)	13回	13日	6,116人(84.0%)	5,400人(74.2%)	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	1月3日(水)～1月26日(木)	44回	22日	19,578人(60.9%)	19,300人(60.0%)	<p>A</p> <p>全公演とも、開場40周年記念及び国立劇場の役割を踏まえた企画意図に沿って制作・実施されたものと認められる。総体として、目標値を超えた入場者を得た点、9月公演「仮名手本忠臣蔵」における中堅、若手技芸員の積極的起用、全公演に字幕表示をして観客の理解を助けた点等に工夫がみられ、高く評価される。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】</p> <p>目標値に達していない入場者数の公演について、原因を分析の上、適切な入場者数の目標値を設定し、広報宣伝を含め、その達成に努めることが望まれる。また、人気のある有名狂言以外の演目や、場面の掘り起こしによるレパートリーの豊富化に努めることが望まれる。特に国立文楽劇場夜の部公演については、集客数の向上に努めることが望まれる。</p>
期 間	回数	日数	入場者数	目 標																																																																					
4月1日(土)～23日(日)	44回	22日	15,997人(49.7%)	17,400人(54.1%)																																																																					
期 間	回数	日数	入場者数	目 標																																																																					
5月12日(金)～28日(日)	34回	17日	17,472人(91.8%)	18,000人(94.5%)																																																																					
期 間	回数	日数	入場者数	目 標																																																																					
7月21日(金)～8月9日(水)	57回	19日	19,612人(47.1%)	18,400人(44.2%)																																																																					
期 間	回数	日数	入場者数	目 標																																																																					
9月8日(金)～24日(日)	51回	17日	25,998人(91.0%)	18,000人(94.5%)																																																																					
期 間	回数	日数	入場者数	目 標																																																																					
11月4日(土)～11月26日(日)	44回	22日	16,924人(52.6%)	16,200人(50.4%)																																																																					
期 間	回数	日数	入場者数	目 標																																																																					
12月5日(火)～17日(日)	13回	13日	6,116人(84.0%)	5,400人(74.2%)																																																																					
期 間	回数	日数	入場者数	目 標																																																																					
1月3日(水)～1月26日(木)	44回	22日	19,578人(60.9%)	19,300人(60.0%)																																																																					



入場者数の達成状況	135,000人以上	94,500人以上 135,000人未満	94,500人未満	実績143,044人/目標135,000人(達成度106.0%)	A

・舞 踊 ・邦 楽 ・雅 楽 ・声 明 ・民俗芸能 ・特別企画	振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する	○ 入場料 ※( )内は学生料金 1等5,800円(4,100円)、2等2,300円、障害者2割引 (8) 2月文楽公演(第1部「奥州安達原」(第2部「摂州合邦辻」(第3部「妹背山婦女庭訓」) ○ 期間、回数、日数及び入場者数 <table border="1"> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> <tr> <td>2月9日(金)~25日(日)</td> <td>51回</td> <td>17日</td> <td>21,347人(74.7%)</td> <td>22,300人(78.1%)</td> </tr> </table> ○ 会場 本館小劇場 ○ 入場料 ※( )内は学生料金 1等5,700円(4,000円)、2等4,700円(2,400円)、3等1,500円(1,300円)、障害者2割引	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	2月9日(金)~25日(日)	51回	17日	21,347人(74.7%)	22,300人(78.1%)	(1) 舞 踊 ○ 期間、回数、日数及び入場者数 <table border="1"> <tr> <th>公演名</th> <th>期間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> <tr> <td>5月公演(本館大劇場) 「祭りと祝福の舞踊 -国立劇場開場40周年を寿ぎ-」</td> <td>5/27</td> <td>1回</td> <td>1日</td> <td>1,427人(93.9%)</td> <td>1,100人(72.4%)</td> </tr> <tr> <td>8月公演(本館小劇場) 「花形・名作舞踊鑑賞会」</td> <td>8/19</td> <td>2回</td> <td>1日</td> <td>958人(91.8%)</td> <td>800人(76.6%)</td> </tr> <tr> <td>10月公演(文楽劇場) 「東西名流舞踊鑑賞会」</td> <td>10/14</td> <td>2回</td> <td>1日</td> <td>849人(62.7%)</td> <td>900人(66.5%)</td> </tr> <tr> <td>11月公演(本館小劇場) 「舞の会-京阪の座敷舞-」</td> <td>11/25</td> <td>2回</td> <td>1日</td> <td>1,017人(86.2%)</td> <td>1,100人(93.2%)</td> </tr> <tr> <td>3月公演(本館小劇場) 「素踊りの会」</td> <td>3/2 ~3/3</td> <td>2回</td> <td>2日</td> <td>891人(75.5%)</td> <td>900人(76.3%)</td> </tr> <tr> <td>合計(5公演)</td> <td></td> <td>9回</td> <td>6日</td> <td>5,142人(81.9%)</td> <td>4,800人(76.5%)</td> </tr> </table> ○ 入場料(全公演障害者2割引) ※( )内は学生料金 [祭りと祝福] 1等7,000円(4,900円)、2等5,000円(3,500円)、3等3,000円(2,100円) [花形名作] 5,000円(3,500円)、昼夜セット券9,400円 [名流舞踊] 6,500円(4,600円) [舞の会・素踊り] 6,000円(4,200円)、昼夜セット券11,400円	公演名	期間	回数	日数	入場者数	目 標	5月公演(本館大劇場) 「祭りと祝福の舞踊 -国立劇場開場40周年を寿ぎ-」	5/27	1回	1日	1,427人(93.9%)	1,100人(72.4%)	8月公演(本館小劇場) 「花形・名作舞踊鑑賞会」	8/19	2回	1日	958人(91.8%)	800人(76.6%)	10月公演(文楽劇場) 「東西名流舞踊鑑賞会」	10/14	2回	1日	849人(62.7%)	900人(66.5%)	11月公演(本館小劇場) 「舞の会-京阪の座敷舞-」	11/25	2回	1日	1,017人(86.2%)	1,100人(93.2%)	3月公演(本館小劇場) 「素踊りの会」	3/2 ~3/3	2回	2日	891人(75.5%)	900人(76.3%)	合計(5公演)		9回	6日	5,142人(81.9%)	4,800人(76.5%)	A 全公演とも、開場40周年記念及び国立劇場の役割を踏まえた企画意図に沿って制作・実施されたものと認められる。特に舞踊公演の「祭りと祝福の舞踊」、邦楽公演の「文楽素浄瑠璃の会」、雅楽公演、声明公演、民俗芸能公演の「日本の太鼓」、特別企画公演の「明日をになう新進の邦楽・舞踊鑑賞会」などは、入場者数が目標値を超え、公演集客も充実しており、評価される。  【より良い事業とするための意見等】 入場者数がやや目標値に達していない公演があったが、内容はいずれも国立劇場ならではの企画であり、他劇場では実現が難しいものであった。適切な入場者の目標値を設定し、広報宣伝に努めつつ、今後も一貫した信念のもとに同種の企画が継続されることが望まれる。											
		期 間	回数	日数	入場者数	目 標																																																													
		2月9日(金)~25日(日)	51回	17日	21,347人(74.7%)	22,300人(78.1%)																																																													
公演名	期間	回数	日数	入場者数	目 標																																																														
5月公演(本館大劇場) 「祭りと祝福の舞踊 -国立劇場開場40周年を寿ぎ-」	5/27	1回	1日	1,427人(93.9%)	1,100人(72.4%)																																																														
8月公演(本館小劇場) 「花形・名作舞踊鑑賞会」	8/19	2回	1日	958人(91.8%)	800人(76.6%)																																																														
10月公演(文楽劇場) 「東西名流舞踊鑑賞会」	10/14	2回	1日	849人(62.7%)	900人(66.5%)																																																														
11月公演(本館小劇場) 「舞の会-京阪の座敷舞-」	11/25	2回	1日	1,017人(86.2%)	1,100人(93.2%)																																																														
3月公演(本館小劇場) 「素踊りの会」	3/2 ~3/3	2回	2日	891人(75.5%)	900人(76.3%)																																																														
合計(5公演)		9回	6日	5,142人(81.9%)	4,800人(76.5%)																																																														
(2) 邦 楽 ○ 期間、回数、日数及び入場者数 <table border="1"> <tr> <th>公演名</th> <th>期間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> <tr> <td>4月公演(文楽劇場) 「文楽素浄瑠璃の会」</td> <td>4/29</td> <td>1回</td> <td>1日</td> <td>501人(66.5%)</td> <td>300人(39.8%)</td> </tr> <tr> <td>7月公演(本館小劇場) 「江戸三味線音楽の歴史」</td> <td>7/22</td> <td>2回</td> <td>1日</td> <td>1,055人(89.4%)</td> <td>800人(67.8%)</td> </tr> <tr> <td>10月公演(本館小劇場) 「文楽素浄瑠璃の会」</td> <td>10/28</td> <td>1回</td> <td>1日</td> <td>563人(95.4%)</td> <td>500人(84.7%)</td> </tr> <tr> <td>11月公演(本館小劇場) 「忠臣蔵を聴く」</td> <td>11/11</td> <td>1回</td> <td>1日</td> <td>320人(54.2%)</td> <td>400人(67.8%)</td> </tr> <tr> <td>1月公演(本館小劇場) 「伊藤鑑賞会 長良の会・三曲の会」</td> <td>1/13 ~1/14</td> <td>2回</td> <td>2日</td> <td>1,035人(87.7%)</td> <td>1,000人(84.7%)</td> </tr> <tr> <td>合計(5公演)</td> <td></td> <td>7回</td> <td>6日</td> <td>3,474人(80.9%)</td> <td>3,000人(69.9%)</td> </tr> </table> ○ 入場料(全公演障害者2割引) ※( )内は学生料金 [5月素浄瑠璃] 3,500円(2,500円) [江戸三味線音楽] 3,600円(2,500円) [10月素浄瑠璃] 4,500円(3,200円) [忠臣蔵を聴く・邦楽鑑賞会] 4,000円(2,800円)	公演名	期間	回数	日数	入場者数	目 標	4月公演(文楽劇場) 「文楽素浄瑠璃の会」	4/29	1回	1日	501人(66.5%)	300人(39.8%)	7月公演(本館小劇場) 「江戸三味線音楽の歴史」	7/22	2回	1日	1,055人(89.4%)	800人(67.8%)	10月公演(本館小劇場) 「文楽素浄瑠璃の会」	10/28	1回	1日	563人(95.4%)	500人(84.7%)	11月公演(本館小劇場) 「忠臣蔵を聴く」	11/11	1回	1日	320人(54.2%)	400人(67.8%)	1月公演(本館小劇場) 「伊藤鑑賞会 長良の会・三曲の会」	1/13 ~1/14	2回	2日	1,035人(87.7%)	1,000人(84.7%)	合計(5公演)		7回	6日	3,474人(80.9%)	3,000人(69.9%)	(3) 雅 楽 ○ 期間、回数、日数及び入場者数 <table border="1"> <tr> <th>公演名</th> <th>期間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> <tr> <td>7月公演(本館小劇場) 「雅楽-失われた伝承を求めて-」</td> <td>7/8</td> <td>1回</td> <td>1日</td> <td>536人(90.8%)</td> <td>500人(84.7%)</td> </tr> <tr> <td>2月公演(本館大劇場) 「舞楽-名曲と稀曲をたのしむ-」</td> <td>2/23</td> <td>1回</td> <td>1日</td> <td>1,549人(96.2%)</td> <td>1,300人(80.7%)</td> </tr> <tr> <td>合計(2公演)</td> <td></td> <td>2回</td> <td>2日</td> <td>2,085人(94.8%)</td> <td>1,800人(81.8%)</td> </tr> </table> ○ 入場料(全公演障害者2割引) ※( )内は学生料金 [雅楽] 4,000円(2,800円) [舞楽] 1等4,500円(3,200円)、2等3,600円(2,500円)	公演名	期間	回数	日数	入場者数	目 標	7月公演(本館小劇場) 「雅楽-失われた伝承を求めて-」	7/8	1回	1日	536人(90.8%)	500人(84.7%)	2月公演(本館大劇場) 「舞楽-名曲と稀曲をたのしむ-」	2/23	1回	1日	1,549人(96.2%)	1,300人(80.7%)	合計(2公演)		2回	2日	2,085人(94.8%)	1,800人(81.8%)
公演名	期間	回数	日数	入場者数	目 標																																																														
4月公演(文楽劇場) 「文楽素浄瑠璃の会」	4/29	1回	1日	501人(66.5%)	300人(39.8%)																																																														
7月公演(本館小劇場) 「江戸三味線音楽の歴史」	7/22	2回	1日	1,055人(89.4%)	800人(67.8%)																																																														
10月公演(本館小劇場) 「文楽素浄瑠璃の会」	10/28	1回	1日	563人(95.4%)	500人(84.7%)																																																														
11月公演(本館小劇場) 「忠臣蔵を聴く」	11/11	1回	1日	320人(54.2%)	400人(67.8%)																																																														
1月公演(本館小劇場) 「伊藤鑑賞会 長良の会・三曲の会」	1/13 ~1/14	2回	2日	1,035人(87.7%)	1,000人(84.7%)																																																														
合計(5公演)		7回	6日	3,474人(80.9%)	3,000人(69.9%)																																																														
公演名	期間	回数	日数	入場者数	目 標																																																														
7月公演(本館小劇場) 「雅楽-失われた伝承を求めて-」	7/8	1回	1日	536人(90.8%)	500人(84.7%)																																																														
2月公演(本館大劇場) 「舞楽-名曲と稀曲をたのしむ-」	2/23	1回	1日	1,549人(96.2%)	1,300人(80.7%)																																																														
合計(2公演)		2回	2日	2,085人(94.8%)	1,800人(81.8%)																																																														

(4) 声明

○ 期間、回数、日数及び入場者数

公演名	期間	回数	日数	入場者数	目標
9月公演（本館大劇場） 「舞楽法会」	9/16	1回	1日	1,410人(96.7%)	1,300人(90.2%)
9月公演（文楽劇場） 「相國寺の観音懺法」	9/16	1回	1日	519人(68.9%)	500人(66.4%)
合計（2公演）		2回	2日	1,929人(87.2%)	1,800人(82.0%)

○ 入場料（両公演ともに障害者2割引）※（ ）内は学生料金

〔舞楽法会〕 1等 4,500円(3,200円)、2等 3,600円(2,500円) 〔相國寺〕 5,000円(3,500円)

(5) 民俗芸能

○ 期間、回数、日数及び入場者数

公演名	期間	回数	日数	入場者数	目標
6月公演（本館小劇場） 「壬生狂言」	6/24 ～6/25	3回	2日	1,316人(74.4%)	1,400人(79.1%)
9月公演（本館大劇場） 「日本の太鼓 空海千響」	9/1 ～9/2	2回	2日	2,729人(84.8%)	2,300人(71.4%)
1月公演（本館小劇場） 「阿波の芸能」	1/27 ～1/28	3回	2日	1,251人(70.7%)	1,400人(79.1%)
合計（3公演）		8回	6日	5,296人(78.3%)	5,100人(75.4%)

○ 入場料（全公演障害者2割引）※（ ）内は学生料金

〔壬生狂言・阿波の芸能〕 3,600円(2,500円)  
〔日本の太鼓〕 1等4,500円(3,200円)、2等3,000円(2,100円)

(6) 特別企画

○ 期間、回数、日数及び入場者数

公演名	期間	回数	日数	入場者数	目標
4月公演（本館小劇場） 「明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会」	4/22	1回	1日	544人(92.2%)	400人(67.8%)
5月公演（文楽劇場） 「明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会」	5/13	1回	1日	397人(52.7%)	300人(44.3%)
6月公演（本館小劇場） 「念仏と題目」	6/15 ～6/16	2回	2日	969人(82.1%)	900人(76.3%)
合計（3公演）		4回	4日	1,910人(75.7%)	1,600人(65.4%)

○ 入場料（全公演障害者2割引）※（ ）内は学生料金

〔4月舞踊邦楽〕 3,000円(2,100円) 〔5月舞踊邦楽〕 4,500円(3,200円)  
〔念仏と題目〕 3,600円(2,500円)

入場者数の達成状況	18,100人以上	12,670人以上 18,100人未満	12,670人未満
-----------	-----------	------------------------	-----------

実績19,836人/目標18,100人（達成度109.6%）

A

・大衆芸能

振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する

(1) 定席公演

○ 期間、回数、日数及び入場者数

公演名	回数	日数	入場者数	目標
4月上席	11回	10日	1,465人(44.4%)	各席 1,155人(35.0%)
4月中席（歌丸 人情話「小判一両」）	12回	10日	2,404人(66.8%)	
5月中席	11回	10日	972人(29.5%)	
6月上席	11回	10日	1,447人(43.8%)	
6月中席	11回	10日	862人(26.1%)	
7月上席	10回	9日	742人(24.7%)	
7月中席	11回	10日	1,246人(37.8%)	
8月上席（さん喬日替わり公演）	11回	10日	1,253人(38.0%)	
8月中席（歌丸「怪談牡丹燈籠」）	11回	10日	3,422人(103.7%)	
9月上席	11回	10日	1,141人(34.6%)	
9月中席	11回	10日	1,156人(35.0%)	
10月上席	11回	10日	820人(24.8%)	
10月中席	11回	10日	1,193人(36.2%)	
11月上席	12回	10日	1,320人(36.7%)	
11月中席	11回	10日	1,441人(43.7%)	
12月上席	11回	10日	1,085人(32.9%)	
12月中席（小さん襲名披露公演）	12回	10日	3,337人(92.7%)	
1月中席	12回	10日	2,658人(73.8%)	

A

全公演とも、開場40周年記念及び国立劇場の役割を踏まえた企画意図に沿って制作・実施されたものと認められる。若手新人公演（花形演芸会）、国立名人会、新春名人会の人気は特筆に値する。他方大衆芸能脚本募集の優秀作品の公演（浪曲）の入場者数が少なかったのは残念である。

【より良い事業とするための意見等】

定席公演22公演の総体として目標値を上回った入場者数であったが、一部にそれが下回った公演があり、それらについては、その不振要因の分析と達成のための対応策が求められる。浪曲練声会については、一層の工夫が求められる。一方で、襲名披露公演の組み入れや「鹿芝居」などの企画により、成果を上げた公演もあり、今後ともそういった方向性は追求されるべきものである。

2月上旬	13回	10日	2,055人(52.7%)	
2月中席(鹿芝居・仮名手本忠臣蔵)	11回	10日	3,082人(93.4%)	
3月上旬	12回	10日	1,610人(44.7%)	
3月中席(夢丸新江戸斬)	12回	10日	1,558人(43.3%)	
合計(22公演)	249回	219日	36,269人(48.6%)	25,300人(35.0%)

※ 期間：[上席] 5月・1月を除く毎月1日～10日、7月のみ2日より)、[下席] 毎月11日～20日

※ 追加貸切公演を計8回実施

○ 会場 演芸場

○ 入場料 一般2,000円(前売1,800円)、学生1,400円、シルバー(65歳以上)1,100円、障害者2割引

(2) 企画公演

○ 期間、回数、日数及び入場者数

公演名	期間	回数	日数	入場者数	目標
4月公演(国立お笑いライブ!)	4/29	1回	1日	286人(95.3%)	各公演 228人(76.0%)
5月公演(三宅坂バラエティー笑天国)	5/21	1回	1日	217人(72.3%)	
6月公演(花形演芸会スペシャル・受賞者の会)	6/26	1回	1日	291人(97.0%)	
7月公演(親子で楽しむ演芸会)	7/31	1回	1日	201人(67.0%)	
8月公演(怪談～納涼ほら～演芸会～)	8/27	1回	1日	296人(98.7%)	
9月公演(女が語る「江戸の若ものたち」)	9/17	1回	1日	266人(88.7%)	
9月公演(SWA 猿蓑の会)	9/23	2回	1日	548人(91.3%)	
10月公演(大衆芸能脚本募集作品の会)	10/22	1回	1日	79人(26.3%)	
10月公演(鹿芝居・与話情浮名横櫛)	10/23	2回	2日	581人(96.8%)	
11月公演(にゅうおいらんず特別公演)	11/27	1回	1日	302人(100.7%)	
12月公演(円丈の「文七元結」をやる会)	12/23	1回	1日	294人(98.0%)	
2月公演(マジック&お笑いライブ)	2/25	1回	1日	260人(86.7%)	
3月公演(講談の会)	3/25	1回	1日	295人(98.3%)	
合計(13公演)		15回	14日	3,916人(87.0%)	3,100人(73.8%)

※ 10月「大衆芸能脚本募集受賞作品の会」は浪曲部門を実施。

○ 会場 演芸場

○ 入場料(全公演障害者2割引)

[親子演芸会] 2,500円(学生1,800円)、小中学生1,500円、[その他] 3,000円(学生2,400円)

(3) 若手新人公演(花形演芸会)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

公演名	期間	回数	日数	入場者数	目標
4月(第323回花形演芸会)	4/22	1回	1日	295人(98.3%)	各公演 258人(86.0%)
5月(第324回花形演芸会)	5/28	1回	1日	255人(85.0%)	
6月(第325回花形演芸会)	6/28	1回	1日	242人(80.7%)	
7月(第326回花形演芸会)	7/23	1回	1日	311人(103.7%)	
8月(第327回花形演芸会)	8/30	1回	1日	229人(76.3%)	
9月(第328回花形演芸会)	9/16	1回	1日	300人(100.0%)	
10月(第329回花形演芸会)	10/29	1回	1日	279人(93.0%)	
11月(第330回花形演芸会)	11/25	1回	1日	292人(97.3%)	
12月(第331回花形演芸会)	12/9	1回	1日	294人(98.0%)	
1月(第332回花形演芸会)	1/21	1回	1日	315人(105.0%)	
2月(第333回花形演芸会)	2/3	1回	1日	321人(107.0%)	
3月(第334回花形演芸会)	3/3	1回	1日	293人(97.7%)	
合計(12公演)		12回	12日	3,426人(95.2%)	3,000人(83.3%)

○ 会場 演芸場

○ 入場料 1,500円(学生1,100円)、シルバー(65歳以上)1,000円、障害者2割引

(4) 国立名人会

○ 期間、回数、日数及び入場者数

公演名	期間	回数	日数	入場者数	目標
4月国立名人会(第288回)	4/23	1回	1日	298人(99.3%)	各公演 282人(94.0%)
5月国立名人会(第289回)	5/21	1回	1日	231人(77.0%)	
6月国立名人会(第290回)	6/25	1回	1日	231人(77.0%)	
7月国立名人会(第291回)	7/30	1回	1日	304人(101.3%)	
8月国立名人会(第292回)	8/27	1回	1日	294人(98.0%)	
9月国立名人会(第293回)	9/30	1回	1日	299人(99.7%)	
10月国立名人会(第294回)	10/21	1回	1日	270人(90.0%)	
11月国立名人会(第295回)	11/26	1回	1日	298人(99.3%)	
12月国立名人会(第296回)	12/24	1回	1日	291人(97.0%)	
2月国立名人会(第297回)	2/25	1回	1日	307人(102.3%)	
3月国立名人会(第298回)	3/21	1回	1日	298人(99.3%)	
合計(11公演)		11回	11日	3,121人(94.6%)	3,100人(93.9%)

○ 会場 演芸場

○ 入場料 3,000円(学生2,100円)、障害者2割引

(5) 新春名人会

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
1月2日(火)～7日(日)	8回	6日	2,425人(101.0%)	2,200人(91.7%)

○ 会場 演芸場

○ 入場料 3,500円(学生2,500円)、障害者2割引

(6) 師走浪曲名人会

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
12月9日(土)	1回	1日	812人(107.8%)	600人(79.7%)

○ 会場 文楽劇場

○ 入場料 3,400円(学生2,400円)、障害者2割引

(7) 浪曲練声会

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
5月20日(土)	2回	1日	165人(51.9%)	200人(62.9%)

○ 会場 文楽劇場小ホール

○ 入場料 2,000円(学生1,400円)、障害者2割引

(8) 上方演芸特選会

○ 期間、回数、日数及び入場者数

公演名	期 間	回数	日数	入場者数	目 標
5月上方演芸特選会(第23回)	5/6～5/10	5回	5日	445人(56.0%)	各公演 400人(50.3%)
7月上方演芸特選会(第24回)	7/2～7/6	5回	5日	429人(54.0%)	
9月上方演芸特選会(第25回)	9/2～9/6	5回	5日	622人(78.2%)	
11月上方演芸特選会(第26回)	11/3～11/7	5回	5日	440人(55.3%)	
1月上方演芸特選会(第27回)	1/6～1/10	5回	5日	508人(63.9%)	
3月上方演芸特選会(第28回)	3/3～3/7	5回	5日	330人(41.5%)	
合計(6公演)		30回	30日	2,774人(58.2%)	2,400人(50.3%)

○ 会場 文楽劇場小ホール

○ 入場料 2,000円(学生1,400円)、シルバー1,100円、障害者2割引

入場者数の達成状況	39,900人以上	27,930人以上 39,900人未満	27,930人未満
-----------	-----------	------------------------	-----------

実績52,908人/目標39,900人(達成度132.6%)

A

・能 楽

振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する。

(1) 定例公演

○ 期間、回数、日数及び入場者数

公演名	期 間	回数	日数	入場者数	目 標
4月(無布施経、是界)	4/12	1回	1日	604人(96.3%)	各公演 561人(94.9%)
4月(子盗人、景清)	4/21	1回	1日	617人(98.4%)	
5月(薩摩守、吉野静)	5/10	1回	1日	481人(76.7%)	
5月(昆布売、通盛)	5/17	1回	1日	574人(91.5%)	
6月(右流左止、草紙洗)	6/7	1回	1日	559人(89.2%)	
6月(長光、葵上)	6/16	1回	1日	611人(97.4%)	
7月(独り松茸、錦木)	7/5	1回	1日	493人(78.6%)	
7月(饅頭、松風)	7/19	1回	1日	609人(97.1%)	
8月(井杭、源氏供養)	8/2	1回	1日	621人(99.0%)	
9月(呂蓮、砧)	9/6	1回	1日	616人(98.2%)	
9月(薫馨、天鼓)	9/15	1回	1日	608人(97.0%)	
10月(骨皮、遊行柳)	10/4	1回	1日	600人(95.7%)	
10月(栗焼、船弁慶)	10/20	1回	1日	613人(97.8%)	
11月(鏡男、女郎花)	11/1	1回	1日	510人(81.3%)	
11月(水汲、鉄輪)	11/17	1回	1日	609人(97.1%)	
12月(雁礮、江口)	12/6	1回	1日	606人(96.7%)	
12月(吹取、三輪)	12/15	1回	1日	550人(87.7%)	
1月(石神、百万)	1/19	1回	1日	614人(97.9%)	
1月(佐渡狐、籠太鼓)	1/31	1回	1日	609人(97.1%)	
2月(空腕、東北)	2/7	1回	1日	575人(91.7%)	
2月(財宝、野守)	2/16	1回	1日	530人(84.5%)	

A

全公演とも、開場40周年記念及び国立劇場の役割を踏まえた企画意図に沿って制作・実施されたものと認められ、女性能楽師による公演など、成功した企画公演のあったことは高く評価される。また、座席字幕システムの導入も高く評価できるとともに、大半の公演が90%以上の入場者数を獲得していることは、特筆に値する。

【より良い事業とするための意見等】

今後とも出演者、曲目の配合・組み合わせ、開場時刻、上演時間等に留意しつつ、観客の要望を踏まえ、公演の充実に努めていくことが望まれる。

何度か行なわれている「蠟燭の灯りによる」公演は高く評価できる。同種の試みの続行が望ましい。

3月(若菜、蟻通)	3/7	1回	1日	585人(93.3%)	
3月(鶯、三山)	3/16	1回	1日	567人(90.4%)	
合計(23公演)		23回	23日	13,361人(92.6%)	12,900人(94.5%)

- 会場 能楽堂(総席数1回あたり627人、計画時の総席数1回あたり591人)
- 入場料 ※( )内は学生料金  
正面4,800円、脇正面3,100円(2,200円)、中正面2,600円(1,800円)、障害者2割引

(2) 普及公演

- 期間、回数、日数及び入場者数

公演名	期間	回数	日数	入場者数	目 標
4月(解説・村瀬和子、塗師平六、采女)	4/8	1回	1日	616人(98.2%)	各公演 561人(94.9%)
5月(解説・林望、呼声、朝長)	5/13	1回	1日	620人(98.9%)	
6月(解説・田中貴子、舟船、鶴)	6/10	1回	1日	618人(98.6%)	
7月(解説・西哲生、鱧庖丁、浮舟)	7/8	1回	1日	609人(97.1%)	
8月(おはなし、茶壺、安達原)	8/4	1回	1日	460人(73.4%)	
8月(おはなし、茶壺、安達原)	8/5	1回	1日	471人(75.1%)	
9月(解説・馬場あき子、宗論、枕愁童)	9/9	1回	1日	618人(98.6%)	
10月(解説・小田幸子、素袍落、小督)	10/14	1回	1日	570人(90.9%)	
11月(解説・馬場あき子、文山賊、井筒)	11/11	1回	1日	610人(97.3%)	
12月(解説・三宅晶子、鞍馬髭、通小町)	12/9	1回	1日	615人(98.1%)	
1月(解説・馬場あき子、箕被、胡蝶)	1/13	1回	1日	616人(98.2%)	
2月(解説・佐谷真木人、重喜、敦盛)	2/10	1回	1日	617人(98.4%)	
3月(解説・増田五造、二人大名、松山氏句)	3/10	1回	1日	613人(97.8%)	
合計(13公演)		13回	13日	7,653人(93.9%)	7,200人( 93.7%)

※ 8月公演(4・5日)は「子どものための夏休み能楽公演」として実施(おはなし・馬野正基)。

- 会場 能楽堂(総席数1回あたり627人、計画時の総席数1回あたり591人)
- 入場料 (全公演障害者2割引) ※( )内は学生料金  
正面4,800円、脇正面3,100円(2,200円)、中正面2,600円(1,800円)  
[8月公演のみ] 正面4,800円、脇正面3,100円、中正面2,600円、小中学生1,300円、高大学生1,700円

(3) 企画公演

- 期間、回数、日数及び入場者数

公演名	期間	回数	日数	入場者数	目 標	
4月特別公演 (加茂、御田、撰侍)	4/29	1回	1日	616人(98.2%)	各公演 1回あたり 561人(94.9%)	
5月特別企画公演 (琵琶と能楽/蠟燭の灯りによる: 横笛、越後篳、巴)	5/25 ~5/26	2回	2日	1,226人(97.8%)		
7月狂言の会 (夏休み親子のための狂言の会)	7/28	2回	1日	1,127人(89.9%)		
9月特別公演 (落葉、引括、綾鼓)	9/30	1回	1日	611人(97.4%)		
10月特別企画公演 (楽琵琶・番假楽ほか、月見座頭、蟬丸)	10/25	1回	1日	561人(89.5%)		
10月特別企画公演 (楽琵琶・楊真娘ほか、月見座頭、蟬丸)	10/26	1回	1日	610人(97.3%)		
10月特別企画公演 (楽琵琶・草庵の語り、月見座頭、蟬丸)	10/27	1回	1日	450人(71.8%)		
11月企画公演 (枕物狂、清経)	11/30	1回	1日	594人(94.7%)		
12月企画公演 (蠟燭の灯りによる:九十九かひ、葛城)	12/22	1回	1日	610人(97.3%)		
1月特別公演 (養老、寝首曲、誓願寺)	1/6	1回	1日	610人(97.3%)		
1月狂言の会 (鍋八撥、柑子、鬮罪人)	1/26	1回	1日	609人(97.1%)		
2月企画公演 (復曲再演の夕べ:近衛殿の申状、鶴羽)	2/22	1回	1日	540人(86.1%)		
3月狂言企画公演 (チョーギン棒縛、木六駄、髭槽)	3/21	1回	1日	609人(97.1%)		
3月企画公演 (女性能楽師による:班女、小鍛冶)	3/24	1回	1日	619人(98.7%)		
合計(14公演)		16回	15日	9,392人(93.6%)		8,900人( 94.9%)

※ 7月夏休み親子のための狂言の会では、狂言「盆山」、「棒縛」、「首引」を上演。

- 会場 能楽堂(総席数1回あたり627人、計画時の総席数1回あたり591人)
- 入場料 (全公演障害者2割引) ※( )内は学生料金  
[企画公演・特別公演] 正面6,100円、脇正面4,700円(3,300円)、中正面3,100円(2,200円)

				[3月企画公演] 正面4,800円、脇正面3,100円(2,200円)、中正面2,600円(1,800円) [狂言の会] 正面4,500円、脇正面3,100円(2,200円)、中正面2,600円(1,800円) [親子狂言] 正面4,500円、脇正面3,100円、中正面2,600円、小中学生1,300円、高大学生1,700円 [特別企画] 正面8,500円、脇正面6,400円(4,500円)、中正面5,300円(3,700円)																																																																																																																																																																																								
入場者数の達成状況	29,000人以上	20,300人以上 29,000人未満	20,300人未満	実績30,406人/目標29,000人(達成度104.8%)	A																																																																																																																																																																																							
組踊等沖縄伝統芸能	振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する			<p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>期間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月(琉球舞踊:若手女性舞踊家の会)</td><td>4/15</td><td>1回</td><td>1日</td><td>347人(54.9%)</td><td rowspan="23">組踊公演 1回あたり 346人(60.0%)</td></tr> <tr><td>4月(組踊:巡見宮)</td><td>4/22</td><td>1回</td><td>1日</td><td>280人(45.0%)</td></tr> <tr><td>5月(琉球舞踊:女形の会)</td><td>5/27</td><td>1回</td><td>1日</td><td>406人(64.2%)</td></tr> <tr><td>7月(琉球舞踊:七夕~恋心~)</td><td>7/8</td><td>1回</td><td>1日</td><td>274人(43.4%)</td></tr> <tr><td>7月(沖縄芝居:丘の一本松)</td><td>7/15~16</td><td>2回</td><td>2日</td><td>1,119人(88.5%)</td></tr> <tr><td>7月(三線音楽:三線音楽と民謡の魅力)</td><td>7/29</td><td>1回</td><td>1日</td><td>304人(48.1%)</td></tr> <tr><td>8月(沖縄芝居:奥山の牡丹)</td><td>8/12</td><td>1回</td><td>1日</td><td>436人(75.3%)</td></tr> <tr><td>8月(組踊:女物狂)</td><td>8/26~27</td><td>2回</td><td>2日</td><td>672人(58.1%)</td></tr> <tr><td>9月(琉球舞踊:若手男性舞踊家の会)</td><td>9/9</td><td>1回</td><td>1日</td><td>340人(53.8%)</td></tr> <tr><td>9月(組踊:糸納殿討)</td><td>9/16</td><td>1回</td><td>1日</td><td>224人(38.8%)</td></tr> <tr><td>9月(民俗芸能:国頭村奥間地域の芸能)</td><td>9/24</td><td>1回</td><td>1日</td><td>444人(76.7%)</td></tr> <tr><td>10月(琉球舞踊:新進舞踊家の会)</td><td>10/7</td><td>1回</td><td>1日</td><td>377人(59.7%)</td></tr> <tr><td>10月(組踊:花売の縁)</td><td>10/13~14</td><td>3回</td><td>2日</td><td>1,549人(89.3%)</td></tr> <tr><td>11月(組踊:西南敵討)</td><td>11/18</td><td>1回</td><td>1日</td><td>290人(50.2%)</td></tr> <tr><td>11月(琉球舞踊:創作舞踊)</td><td>11/25</td><td>1回</td><td>1日</td><td>379人(60.0%)</td></tr> <tr><td>12月(三線音楽:人間国宝による三線音楽鑑賞会)</td><td>12/9</td><td>1回</td><td>1日</td><td>507人(87.7%)</td></tr> <tr><td>12月(組踊:奇縁の巻)</td><td>12/23</td><td>1回</td><td>1日</td><td>248人(42.9%)</td></tr> <tr><td>1月(琉球舞踊:新春 琉舞名人選~嘉例吉の舞~)</td><td>1/13</td><td>1回</td><td>1日</td><td>427人(67.6%)</td></tr> <tr><td>1月(琉球舞踊:新春 琉舞名人選~初春を寿ぐ~)</td><td>1/14</td><td>1回</td><td>1日</td><td>382人(60.4%)</td></tr> <tr><td>1月(組踊:孝行の巻)</td><td>1/27~28</td><td>2回</td><td>2日</td><td>433人(37.5%)</td></tr> <tr><td>2月(民俗芸能:与那国島の祭事の芸能)</td><td>2/3</td><td>1回</td><td>1日</td><td>586人(92.7%)</td></tr> <tr><td>2月(沖縄芝居:薬師堂)</td><td>2/10~12</td><td>3回</td><td>3日</td><td>908人(47.9%)</td></tr> <tr><td>2月(組踊:忠臣義勇)</td><td>2/24</td><td>1回</td><td>1日</td><td>214人(37.0%)</td></tr> <tr><td>定期公演小計(23公演)</td><td></td><td>30回</td><td>29日</td><td>11,126人(61.3%)</td><td>-</td></tr> <tr><td>5月(太鼓:太鼓の競演)</td><td>5/20</td><td>1回</td><td>1日</td><td>519人(89.6%)</td><td rowspan="5">1回あたり 379人(60.0%)</td></tr> <tr><td>6月(芝居:一人芝居と話芸)</td><td>6/10</td><td>1回</td><td>1日</td><td>593人(93.8%)</td></tr> <tr><td>10月(アジア・太平洋地域の芸能:日中伝統演劇交流会)</td><td>10/28</td><td>2回</td><td>1日</td><td>287人(24.8%)</td></tr> <tr><td>11月(本土の芸能:国立劇場寄席)</td><td>11/11</td><td>1回</td><td>1日</td><td>307人(48.6%)</td></tr> <tr><td>3月(本土の芸能:九州の民俗芸能鑑賞会)</td><td>3/10</td><td>1回</td><td>1日</td><td>369人(63.7%)</td></tr> <tr><td>3月(芝居:新作芝居 琉舞の花道)</td><td>3/24</td><td>1回</td><td>1日</td><td>438人(83.4%)</td></tr> <tr><td>企画公演小計(5公演)</td><td></td><td>7回</td><td>6日</td><td>2,513人(61.2%)</td><td>-</td></tr> <tr><td>6月研究(宿納森の獅子)</td><td>6/7</td><td>1回</td><td>1日</td><td>327人(51.7%)</td><td>346人(60.0%)</td></tr> <tr><td>研究公演小計(1公演)</td><td></td><td>1回</td><td>1日</td><td>327人(51.7%)</td><td>-</td></tr> <tr><td>合計(30公演)</td><td></td><td>38回</td><td>36日</td><td>13,966人(61.0%)</td><td>13,600人(60.0%)</td></tr> </tbody> </table> <p>○ 会場 国立劇場おきなわ大劇場 ○ 入場料 (全公演障害者2割引、親子割引[親=定額・子=500円]) ※( )内は学生料金 [定期公演(下記を除く)、研究公演] 3,000円(2,000円)、発売日割引2,500円 [7月・8月・2月沖縄芝居公演、5月・6月・10月・3月企画公演] 3,500円(2,000円)、発売日割引3,000円 [1月琉球舞踊公演] 4,000円(2,000円)、発売日割引3,500円</p>	公演名	期間	回数	日数	入場者数	目標	4月(琉球舞踊:若手女性舞踊家の会)	4/15	1回	1日	347人(54.9%)	組踊公演 1回あたり 346人(60.0%)	4月(組踊:巡見宮)	4/22	1回	1日	280人(45.0%)	5月(琉球舞踊:女形の会)	5/27	1回	1日	406人(64.2%)	7月(琉球舞踊:七夕~恋心~)	7/8	1回	1日	274人(43.4%)	7月(沖縄芝居:丘の一本松)	7/15~16	2回	2日	1,119人(88.5%)	7月(三線音楽:三線音楽と民謡の魅力)	7/29	1回	1日	304人(48.1%)	8月(沖縄芝居:奥山の牡丹)	8/12	1回	1日	436人(75.3%)	8月(組踊:女物狂)	8/26~27	2回	2日	672人(58.1%)	9月(琉球舞踊:若手男性舞踊家の会)	9/9	1回	1日	340人(53.8%)	9月(組踊:糸納殿討)	9/16	1回	1日	224人(38.8%)	9月(民俗芸能:国頭村奥間地域の芸能)	9/24	1回	1日	444人(76.7%)	10月(琉球舞踊:新進舞踊家の会)	10/7	1回	1日	377人(59.7%)	10月(組踊:花売の縁)	10/13~14	3回	2日	1,549人(89.3%)	11月(組踊:西南敵討)	11/18	1回	1日	290人(50.2%)	11月(琉球舞踊:創作舞踊)	11/25	1回	1日	379人(60.0%)	12月(三線音楽:人間国宝による三線音楽鑑賞会)	12/9	1回	1日	507人(87.7%)	12月(組踊:奇縁の巻)	12/23	1回	1日	248人(42.9%)	1月(琉球舞踊:新春 琉舞名人選~嘉例吉の舞~)	1/13	1回	1日	427人(67.6%)	1月(琉球舞踊:新春 琉舞名人選~初春を寿ぐ~)	1/14	1回	1日	382人(60.4%)	1月(組踊:孝行の巻)	1/27~28	2回	2日	433人(37.5%)	2月(民俗芸能:与那国島の祭事の芸能)	2/3	1回	1日	586人(92.7%)	2月(沖縄芝居:薬師堂)	2/10~12	3回	3日	908人(47.9%)	2月(組踊:忠臣義勇)	2/24	1回	1日	214人(37.0%)	定期公演小計(23公演)		30回	29日	11,126人(61.3%)	-	5月(太鼓:太鼓の競演)	5/20	1回	1日	519人(89.6%)	1回あたり 379人(60.0%)	6月(芝居:一人芝居と話芸)	6/10	1回	1日	593人(93.8%)	10月(アジア・太平洋地域の芸能:日中伝統演劇交流会)	10/28	2回	1日	287人(24.8%)	11月(本土の芸能:国立劇場寄席)	11/11	1回	1日	307人(48.6%)	3月(本土の芸能:九州の民俗芸能鑑賞会)	3/10	1回	1日	369人(63.7%)	3月(芝居:新作芝居 琉舞の花道)	3/24	1回	1日	438人(83.4%)	企画公演小計(5公演)		7回	6日	2,513人(61.2%)	-	6月研究(宿納森の獅子)	6/7	1回	1日	327人(51.7%)	346人(60.0%)	研究公演小計(1公演)		1回	1日	327人(51.7%)	-	合計(30公演)		38回	36日	13,966人(61.0%)	13,600人(60.0%)	A
公演名	期間	回数	日数	入場者数	目標																																																																																																																																																																																							
4月(琉球舞踊:若手女性舞踊家の会)	4/15	1回	1日	347人(54.9%)	組踊公演 1回あたり 346人(60.0%)																																																																																																																																																																																							
4月(組踊:巡見宮)	4/22	1回	1日	280人(45.0%)																																																																																																																																																																																								
5月(琉球舞踊:女形の会)	5/27	1回	1日	406人(64.2%)																																																																																																																																																																																								
7月(琉球舞踊:七夕~恋心~)	7/8	1回	1日	274人(43.4%)																																																																																																																																																																																								
7月(沖縄芝居:丘の一本松)	7/15~16	2回	2日	1,119人(88.5%)																																																																																																																																																																																								
7月(三線音楽:三線音楽と民謡の魅力)	7/29	1回	1日	304人(48.1%)																																																																																																																																																																																								
8月(沖縄芝居:奥山の牡丹)	8/12	1回	1日	436人(75.3%)																																																																																																																																																																																								
8月(組踊:女物狂)	8/26~27	2回	2日	672人(58.1%)																																																																																																																																																																																								
9月(琉球舞踊:若手男性舞踊家の会)	9/9	1回	1日	340人(53.8%)																																																																																																																																																																																								
9月(組踊:糸納殿討)	9/16	1回	1日	224人(38.8%)																																																																																																																																																																																								
9月(民俗芸能:国頭村奥間地域の芸能)	9/24	1回	1日	444人(76.7%)																																																																																																																																																																																								
10月(琉球舞踊:新進舞踊家の会)	10/7	1回	1日	377人(59.7%)																																																																																																																																																																																								
10月(組踊:花売の縁)	10/13~14	3回	2日	1,549人(89.3%)																																																																																																																																																																																								
11月(組踊:西南敵討)	11/18	1回	1日	290人(50.2%)																																																																																																																																																																																								
11月(琉球舞踊:創作舞踊)	11/25	1回	1日	379人(60.0%)																																																																																																																																																																																								
12月(三線音楽:人間国宝による三線音楽鑑賞会)	12/9	1回	1日	507人(87.7%)																																																																																																																																																																																								
12月(組踊:奇縁の巻)	12/23	1回	1日	248人(42.9%)																																																																																																																																																																																								
1月(琉球舞踊:新春 琉舞名人選~嘉例吉の舞~)	1/13	1回	1日	427人(67.6%)																																																																																																																																																																																								
1月(琉球舞踊:新春 琉舞名人選~初春を寿ぐ~)	1/14	1回	1日	382人(60.4%)																																																																																																																																																																																								
1月(組踊:孝行の巻)	1/27~28	2回	2日	433人(37.5%)																																																																																																																																																																																								
2月(民俗芸能:与那国島の祭事の芸能)	2/3	1回	1日	586人(92.7%)																																																																																																																																																																																								
2月(沖縄芝居:薬師堂)	2/10~12	3回	3日	908人(47.9%)																																																																																																																																																																																								
2月(組踊:忠臣義勇)	2/24	1回	1日	214人(37.0%)																																																																																																																																																																																								
定期公演小計(23公演)		30回	29日	11,126人(61.3%)	-																																																																																																																																																																																							
5月(太鼓:太鼓の競演)	5/20	1回	1日	519人(89.6%)	1回あたり 379人(60.0%)																																																																																																																																																																																							
6月(芝居:一人芝居と話芸)	6/10	1回	1日	593人(93.8%)																																																																																																																																																																																								
10月(アジア・太平洋地域の芸能:日中伝統演劇交流会)	10/28	2回	1日	287人(24.8%)																																																																																																																																																																																								
11月(本土の芸能:国立劇場寄席)	11/11	1回	1日	307人(48.6%)																																																																																																																																																																																								
3月(本土の芸能:九州の民俗芸能鑑賞会)	3/10	1回	1日	369人(63.7%)																																																																																																																																																																																								
3月(芝居:新作芝居 琉舞の花道)	3/24	1回	1日	438人(83.4%)																																																																																																																																																																																								
企画公演小計(5公演)		7回	6日	2,513人(61.2%)	-																																																																																																																																																																																							
6月研究(宿納森の獅子)	6/7	1回	1日	327人(51.7%)	346人(60.0%)																																																																																																																																																																																							
研究公演小計(1公演)		1回	1日	327人(51.7%)	-																																																																																																																																																																																							
合計(30公演)		38回	36日	13,966人(61.0%)	13,600人(60.0%)																																																																																																																																																																																							
入場者数の達成状況	13,900人以上	9,730人以上 13,900人未満	9,730人未満	実績13,966人/目標13,900人(達成度100.5%)	A																																																																																																																																																																																							
演目の拡充	振興会における自己点検評価の結果			1. 復活上演候補演目の調査研究	A																																																																																																																																																																																							

全公演とも、国立劇場の役割を踏まえた企画意図に沿って制作・実施されている。企画公演の中の「アジア太平洋地域の芸能公演」「本土の芸能公演」は、国立劇場おきなわが包含しうるレパートリーの広がりを見せ、その発展的継続が望まれる。また、新作沖縄芝居公演など、進取の気風に富んだ沖縄の土壌にあった創作的活動で成果を上げることも期待される。

【より良い事業とするための意見等】

・入場者数については、総数では目標値を達成しているものの、各ジャンルによってバラつきが見られる。特に組踊は、「花売の縁」を除き目標値を達成できておらず、中には40%を下回るものもある。

・長期的展望に立って地元沖縄だけでなく、東京、大阪など本土の観光客にもっと劇場の存在をアピールする努力を行い、適切な入場者の設定、自治体・交通機関との連携を図り、広報宣伝に工夫をこらすなど努力を持続することが望まれる。

・日本列島西南域はもとより、広く近隣アジア地域の芸能に視野を広げた公演・公開事業が、今後とも追求され、国立劇場おきなわに愛好者や観光客などが注目する魅力ある企画、工夫が求められる。

・国立劇場おきなわが出来たことで、国立劇場で琉球舞踊が上演される機会が少なくなっているのは残念である。予算面の問題はあるだろうが、国立劇場の公演をおきなわでも、おきなわの公演を国立劇場でも公演するという交換公演があってもいいのではないかと。

国立劇場の役割を踏まえた事業目的に沿った成果が

をふまえつつ、委員の協議により、  
評定を決定する

- 第1回調査検討委員会（平成19年3月15日）
- 各委員に依頼している上演候補台本準備稿作成に向けての作業について、進捗状況の報告と問題点の指摘を受け、引き続き作業を進めることを依頼した。
  - 古井戸秀夫委員からは、候補作品である「誦読艶仲町(いきじくらべはでななかちょう)」について、序幕の第一稿が提示された。
  - そのほか、新たに候補となる演目の提案があり、19年度以降の歌舞伎公演の企画の参考とすべく、その内容等について意見聴取を行った。
2. 歌舞伎新作脚本の募集
- 「上演を前提とした実施方法への見直し」を謳った検討結果を踏まえ、17年度に行った募集で、183篇の応募作品を得、今年度は、その選考を行った。183篇のうち、募集要項に外れたものを除く171篇について内部選考を重ね、6篇を最終選考に残した。最終選考は5月17日に行われ、選考委員による討論の結果、以下の3篇に絞られたが、満場一致で推される作品がなかったため、3篇を同列に佳作とすることが決定された。  
佳作「紺青鬼(こんじょうぎ)」藤田恵子、「人情話 甘ったれ鬼」篠崎隆雄、「豊寿丸変相(ほうじゅまるへんそう)」森山治男  
また、財団法人清茶会による奨励賞は、以下の2篇に決定した。  
奨励賞「月光戀華陽雲(つきあかりこいのはなひのしずく)」岡庭菜穂、「恋募糺緋入初添(おもいこうじてひいれのはつそい)」堀内裕介  
(選考委員) 大笹吉雄・神山彰・栗山民也・竹田真砂子
  - 入選作の上演を検討した結果、3月の歌舞伎公演で「豊寿丸変相」が「蓮絲恋慕曼荼羅(はちすのいとこいのまんだら)」の題名で上演され、高い舞台成果を収めた。
  - 今回の成果を踏まえ、平成19年度の内に、新たな募集を行うことを決定した。
3. 大衆芸能新作脚本の募集
- 8月1日より講談の募集を行い、8月末日をもって締め切った。応募総数は35篇であった。
  - 1月30日に選考会を開催し、佳作3篇が選出された。  
佳作「人情深川紅白粉」紫喜三郎、「火消しと男爵」志賀虚舟、「下谷指切り地蔵」山地常司  
また、財団法人清茶会による奨励賞は、以下に決定した。  
奨励賞 堀内裕介  
(選考委員) 太田博・大西信行・神山松鯉・熊谷富夫・宝井馬琴・布目英一・安田武宏
  - 大衆芸能新作脚本は、上演を前提としての募集を行っており、18年度受賞作品については、下記の日程で上演を予定している。  
19年10月21日 特別企画「大衆芸能脚本受賞作品の会」
  - 平成17年度大衆芸能受賞(浪曲)について、実演家と検討を行い、上演した。  
18年10月22日 特別企画「大衆芸能脚本受賞作品の会」浪曲部門

あがっているものと認められる。特に復活上演作品の調査研究や歌舞伎新作脚本の募集、大衆芸能新作脚本募集は、地道な作業であるが、工夫と広報が行き届き、徐々に成果を上げていく。17年度の応募作品の中から選考された歌舞伎公演「蓮絲恋慕曼荼羅」が多くの入場者を得て成果を上げたことは評価される。

(2) 現代舞台芸術の公演

振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、  
評定を決定する

1. 公演実績
- | 公演名      | 公演数  | 回数   | 日数   | 入場者数            | 目標入場者数          |
|----------|------|------|------|-----------------|-----------------|
| オペラ      | 10公演 | 46回  | 46日  | 58,420人(76.3%)  | 57,600人(75.0%)  |
| バレエ      | 7公演  | 36回  | 36日  | 48,603人(79.7%)  | 42,700人(70.0%)  |
| 現代舞踊     | 4公演  | 12回  | 12日  | 5,438人(77.9%)   | 4,900人(70.0%)   |
| 演劇       | 10公演 | 163回 | 144日 | 51,800人(80.3%)  | 43,300人(70.0%)  |
| 小計       | 31公演 | 257回 | 238日 | 164,261人(78.6%) | 148,500人(71.9%) |
| 青少年等鑑賞教室 | 2公演  | 12回  | 9日   | 15,118人(94.2%)  | 12,200人(75.0%)  |
| 合計       | 33公演 | 269回 | 247日 | 179,379人(79.7%) | 160,700人(72.2%) |
2. 外部団体との連携・協力、地方における上演
- 平成18年度(第61回)文化庁芸術祭主催2公演、協賛6公演を実施した。
  - 平成18年度文化庁舞台芸術国際フェスティバル主催公演1公演を実施した。
  - 地域団体との連携2公演(オペラ1公演、演劇1公演)を実施した。
  - 全国で9公演(オペラコンサート4公演・バレエ2公演・現代舞踊1公演・演劇1公演・演劇関係イベント1回)を実施した。
3. 外部専門家等の意見
- 上演機会の少ないオペラ・バレエの新作、実験的な現代舞踊・演劇作品、収支の均衡や集客が困難な公演等、民間では着手しにくい公演に前向きに取り組む、高い水準で上演している点を評価したい。  
また、若年層への観劇の働きかけや、観客が劇場空間を楽しむ多彩な工夫も行われており、舞台制作以外での努力についても評価したい。  
新国立劇場以外でも全国で多彩な活動を行っており、更に新国立劇場の公演を全国で鑑賞できるよう、引き続き努力してほしい。
4. アンケート調査
- すべての公演で実施。入場時にステージノート、プログラム(鑑賞教室)に挟み込み配布。  
(オペラ) 回答数1,598人、概ね満足76.4%(1,221人)  
(バレエ) 回答数1,546人、概ね満足78.5%(1,213人)  
(現代舞踊) 回答数209人、概ね満足71.3%(149人)  
(演劇) 回答数1,810人、概ね満足72.8%(1,317人)  
(鑑賞教室) 回答数4,511人、「高校生のためのオペラ鑑賞教室」: 概ね満足63.0%(2,032人)  
「こどものためのオペラ劇場」: 概ね満足85.1%(1,094人)

A

全般的に、新国立劇場の役割を踏まえた企画意図に沿って公演の制作・実施が行われ、効果があがったものと認められる。

【より良い事業とするための意見等】  
一部の公演については、入場者数が目標値に達していないものがあり、今後は、適切な目標値の設定を含め、広報宣伝及びマーケティングに工夫を凝らし、その達成に努めることが望まれる。なお、アカデミックプランは有用であり、今後とも、これが実施されることが望まれる。

・オペラ

振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、  
評定を決定する

- (1) カヴァレリア・ルスティカーナ(全1幕) / 道化師(全2幕)
- 期間、回数、日数及び入場者数
- | 期 間            | 回数 | 日数 | 入場者数          | 目 標           |
|----------------|----|----|---------------|---------------|
| 4月5日(水)～11日(火) | 4回 | 4日 | 5,367人(74.9%) | 5,400人(75.0%) |
- 会場 オペラ劇場  
○ 入場料 ㊶21,000円、㊷18,900円、㊸15,750円、㊹13,650円、㊺10,500円、㊻7,350円、㊼6,300円、㊽3,150円、㊾1,500円
- (2) こうもり(全3幕)
- 期間、回数、日数及び入場者数

A

「こうもり」、「イドメネオ」の指揮が高い成果を上げたと思われるほか、新国立劇場の役割を踏まえた企画意図に沿って、おおむねレベルの高い公演が制作・実施されたものと認められる。

【より良い事業とするための意見等】  
2公演(フィデリオ、運命の力)については、入場者数が目標値に達していないため、今後は、適切な目標値の設定を含め、広報宣伝及びマーケティング

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
6月14日(水)～28日(水)	6回	6日	8,415人(78.3%)	8,100人(75.0%)

- 会場 オペラ劇場
- 入場料 ㊸21,000円、㊹18,900円、㊺15,750円、㊻13,650円、㊼10,500円、㊽ 7,350円、㊾ 6,300円、㊿ 3,150円、Ⓚ 1,500円

(3) ドン・カルロ (全4幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
9月7日(木)～21日(木)	6回	6日	8,207人(76.3%)	8,100人(75.0%)

- 会場 オペラ劇場
- 入場料 ㊸21,000円、㊹15,750円、㊺10,500円、㊻ 6,300円、㊼ 3,150円、㊽ 1,500円

(4) イドメネオ (全3幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
10月20日(金)～30日(月)	5回	5日	6,929人(77.3%)	6,700人(75.0%)

- 会場 オペラ劇場
- 入場料 ㊸21,000円、㊹15,750円、㊺10,500円、㊻ 6,300円、㊼ 3,150円、㊽ 1,500円

(5) フィデリオ (全2幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
11月30日(木)～12月9日(土)	4回	4日	4,151人(57.9%)	5,400人(75.0%)

- 会場 オペラ劇場
- 入場料 ㊸21,000円、㊹15,750円、㊺10,500円、㊻ 6,300円、㊼ 3,150円、㊽ 1,500円

(6) セビリアの理髪師 (全2幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
12月1日(金)～10日(日)	4回	4日	5,724人(79.9%)	5,400人(75.0%)

- 会場 オペラ劇場
- 入場料 ㊸21,000円、㊹15,750円、㊺10,500円、㊻ 6,300円、㊼ 3,150円、㊽ 1,500円

(7) さまよえるオランダ人 (全3幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
2月25日(日)～3月10日(土)	5回	5日	7,438人(83.0%)	6,700人(75.0%)

- 会場 オペラ劇場
- 入場料 ㊸21,000円、㊹15,750円、㊺10,500円、㊻ 6,300円、㊼ 3,150円、㊽ 1,500円

(8) 運命の力 (全4幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
3月15日(木)～24日(土)	4回	4日	4,875人(68.0%)	5,400人(75.0%)

- 会場 オペラ劇場
- 入場料 ㊸21,000円、㊹15,750円、㊺10,500円、㊻ 6,300円、㊼ 3,150円、㊽ 1,500円

(9) 蝶々夫人 (全2幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
3月22日(木)～31日(土)	4回	4日	6,232人(86.9%)	5,400人(75.0%)

- 会場 オペラ劇場
- 入場料 ㊸21,000円、㊹15,750円、㊺10,500円、㊻ 6,300円、㊼ 3,150円、㊽ 1,500円

(10) フラ・ディアヴォロ (全3幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
2月15日(木)～18日(日)	4回	4日	1,082人(84.0%)	1,000人(75.0%)

- 会場 小劇場
- 入場料 5,250円、㊽ 1,500円

入場者数の達成状況	57,600人以上	40,320人以上 57,600人未満	40,320人未満	実績58,420人/目標57,600人(達成度101.4%)	A
-----------	-----------	------------------------	-----------	--------------------------------	---

に工夫を凝らし、その達成に努めることが望まれる。  
なお、アカデミックプランは有用であり、今後とも、  
これが実施されることが望まれる。

・今年度は日本人による作品の上演がなかったが、新  
国立劇場の重要な取組なので今後に期待したい。



・バレエ

振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する

(1) ローラン・プティのこうもり(全2幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
5月19日(金)～28日(日)	6回	6日	7,532人(70.1%)	7,500人(70.0%)

○ 会場 オペラ劇場

○ 入場料 ㊶10,500円、㊷ 9,240円、㊸ 7,980円、㊹ 6,930円、㊺ 5,880円、㊻ 4,830円、㊼ 3,780円、㊽ 3,150円、㊾ 1,500円

(2) ジゼル(全2幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
6月24日(土)～7月2日(日)	5回	5日	6,299人(70.3%)	6,300人(70.0%)

○ 会場 オペラ劇場

○ 入場料 ㊶ 9,450円、㊷ 8,400円、㊸ 7,350円、㊹ 6,300円、㊺ 5,250円、㊻ 4,200円、㊼ 3,570円、㊽ 3,150円、㊾ 1,500円

(3) ライモンダ(全3幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
10月5日(木)～9日(月・祝)	5回	5日	6,065人(67.7%)	6,300人(70.0%)

○ 会場 オペラ劇場

○ 入場料 ㊶ 9,450円、㊷ 7,350円、㊸ 5,250円、㊹ 4,200円、㊺ 3,150円、㊻ 1,500円

(4) 白鳥の湖(全3幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
11月12日(日)～19日(日)	5回	5日	8,082人(90.2%)	6,300人(70.0%)

○ 会場 オペラ劇場

○ 入場料 ㊶10,500円、㊷ 8,400円、㊸ 6,300円、㊹ 4,200円、㊺ 3,150円、㊻ 1,500円

(5) シンデレラ(全3幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
12月15日(金)～24日(日)	7回	7日	11,274人(89.9%)	8,800人(70.0%)

○ 会場 オペラ劇場

○ 入場料 ㊶ 9,450円、㊷ 7,350円、㊸ 5,250円、㊹ 4,200円、㊺ 3,150円、㊻ 1,500円

(6) 眠れる森の美女(全3幕・プロローグ・アポテオース付き)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
2月1日(木)～4日(日)	4回	4日	6,238人(87.0%)	5,000人(70.0%)

○ 会場 オペラ劇場

○ 入場料 ㊶ 9,450円、㊷ 7,350円、㊸ 5,250円、㊹ 4,200円、㊺ 3,150円、㊻ 1,500円

(7) オルフェオとエウリディーチェ(全2幕)

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
3月21日(水)～25日(日)	4回	4日	3,113人(85.0%)	2,500人(70.0%)

○ 会場 中劇場

○ 入場料 ㊶ 7,350円、㊷ 4,200円、㊸ 3,130円、㊹ 1,500円

入場者数の達成状況

42,700人以上

29,890人以上  
42,700人未満

29,890人未満

実績48,603人/目標42,700人(達成度113.8%)

・現代舞踊

振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する

(1) ダンスプラネットNo.20「きらめく背骨」

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
6月16日(金)～18日(日)	3回	3日	830人(79.5%)	700人(70.0%)

○ 会場 小劇場

○ 入場料 ㊶5,250円、㊷3,150円、㊸1,500円

(2) ダンスプラネットNo.21「DANCE EXHIBITION 2006」

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標

A

新国立劇場の役割を踏まえた企画意図に沿って制作・実施され、また、入場者数も1公演(ライモンダ)を除き目標値を超えており、効果があがったものと認められる。

【より良い事業とするための意見等】

アカデミックプランは有用であり、今後とも、これが実施されることが望まれる。

A

新国立劇場の役割を踏まえた企画意図に沿って制作・実施されたものと認められる。入場者数も、全公演について目標値を超えており、効果があがったものと認められる。

A

9月15日(金)～19日(火)	4回	4日	1,063人(78.2%)	1,000人(70.0%)
-----------------	----	----	---------------	---------------

- 会場 小劇場
- 入場料 ④5,250円、③3,150円、②1,500円

(3) ダンステアトロンNo.14「ガラスノ牙」(Glass Tooth)

- 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
12月15日(金)～17日(日)	3回	3日	2,071人(75.4%)	1,900人(70.0%)

- 会場 中劇場
- 入場料 ⑥6,300円、④5,250円、③3,150円、②1,500円

(4) ダンステアトロンNo.15「如風～inside of the wind～」

- 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
2月10日(土)～11日(日)	2回	2日	1,474人(80.5%)	1,300人(70.0%)

- 会場 中劇場
- 入場料 ④5,250円、③3,150円、②1,500円

入場者数の達成状況

4,900人以上	3,430人以上 4,900人未満	3,430人未満
----------	----------------------	----------

実績5,438人/目標4,900人(達成度111.0%)

A

・演劇

振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する

(1) カエル

- 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
4月1日(土)～13日(木)	12回	12日	1,727人(42.3%)	2,700人(70.0%)

- 会場 小劇場
- 入場料 ④5,250円、③3,150円、②1,500円

(2) マテリアル・ママ

- 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
4月19日(水)～5月4日(木)	20回	14日	3,054人(86.5%)	2,100人(70.0%)

- 会場 小劇場
- 入場料 5,250円、②1,500円

(3) Into the woods

- 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
5月19日(金)～6月6日(火)	20回	17日	16,722人(83.4%)	14,000人(70.0%)

- 会場 中劇場
- 入場料 ⑥6,300円、④4,200円、③3,150円、②1,500円

(4) やわらかい服を着て

- 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
5月22日(月)～6月11日(日)	20回	19日	6,179人(87.7%)	4,500人(70.0%)

- 会場 小劇場
- 入場料 ④5,250円、③3,150円、②1,500円

(5) 夢の痾

- 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
6月28日(水)～7月23日(日)	25回	21日	7,046人(89.1%)	5,500人(70.0%)

- 会場 小劇場
- 入場料 ④5,250円、③3,150円、②1,500円

(6) アジアの女

- 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
9月28日(木)～10月15日(日)	20回	16日	5,595人(85.8%)	4,000人(70.0%)

- 会場 小劇場
- 入場料 ④5,250円、③3,150円、②1,500円

A

栗山芸術監督のもとで多彩な試みが行なわれた年度だったが、公演は新国立劇場の役割を踏まえた企画意図に沿って制作・実施され、入場者数も2公演(カエル、コペンハーゲン)を除き目標値を超えており、効果があがったものと認められる。

【より良い事業とするための意見等】  
新作劇には期待外れの作品もあった。新国立劇場の役割として、定評のある過去の作品を新しい演出と新しいキャストで再演する方向等を重視しては如何か。

(7) シラノ・ド・ベルジュラック

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
11月2日(木)～12日(日)	7回	7日	3,675人(77.8%)	3,500人(70.0%)

- 会場 中劇場
- 入場料 ⑤5,250円、④53,150円、③1,500円

(8) イワーノフ / オイディプス王

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
11月4日(土)～12日(日)	7回	7日	1,841人(85.2%)	1,600人(70.0%)

- 会場 小劇場
- 入場料 ④5,250円、③3,150円、②1,500円

(9) エンジョイ

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
12月7日(木)～23日(土・祝)	15回	15日	2,493人(83.8%)	1,600人(70.0%)

- 会場 小劇場
- 入場料 4,200円、②1,500円

(10) コペンハーゲン/COPENHAGEN

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
3月1日(木)～18日(日)	17回	16日	3,468人(62.6%)	3,800人(70.0%)

- 会場 小劇場
- 入場料 ④5,250円、③3,150円、②1,500円

入場者数の達成状況	43,300人以上	30,310人以上 43,300人未満	30,310人未満
-----------	-----------	------------------------	-----------

【入場者数の達成状況】実績51,800人/目標43,300人(達成度119.6%)

A

(3) 青少年等を対象とした伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演

振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する

A

各公演とも、企画意図に沿って制作・実施され、一定の効果があがったものと認められる。

【より良い事業とするための意見等】  
一部の公演の入場者数が目標値に達していないため、今後は、適切な目標値の設定を含め、広報宣伝にも工夫を凝らし、その達成に努めることが望まれる。

・伝統芸能の公開

振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する

A

解説役に歌舞伎俳優研修生を登場させたり(歌舞伎鑑賞教室)、観客参加型の解説をおこなう(能楽鑑賞教室)などは効果的であった。各公演とも、企画意図に沿って制作・実施され、一定の効果があがったものと認められる。

【より良い事業とするための意見等】  
2公演の入場者数が目標値にやや達していないが、今後とも適切な目標値を設定し、広報宣伝を含め、その達成に努めることが望まれる。

(1) 6月歌舞伎鑑賞教室公演「解説 歌舞伎のみかた」「国性爺合戦」

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
6月1日(木)～24日(土)	46回	23日	54,394人(77.8%)	57,900人(82.8%)

【社会人のための歌舞伎鑑賞教室】※回数、日数、入場者数は上記に含まれる。

期 間	回数	日数	入場者数
9日・16日(金)	2回	2日	1,806人(59.4%)

- 会場 本館大劇場
- 入場料 学生1,300円、一般：1等3,800円、2等1,500円、障害者2割引

(2) 7月歌舞伎鑑賞教室公演「解説 歌舞伎のみかた」「彦山権現誓助剣 -毛谷村-

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
7月3日(月)～24日(月)	42回	21日	56,352人(88.3%)	52,900人(82.9%)

【社会人のための歌舞伎鑑賞教室】※回数、日数、入場者数は上記に含まれる。

期 間	回数	日数	入場者数
14日・21日(金)	2回	2日	1,480人(48.7%)

- 会場 本館大劇場
- 入場料 学生1,300円、一般：1等3,800円、2等1,500円、障害者2割引

(3) 6月文楽鑑賞教室「五條橋」「解説 文楽へようこそ」「新版歌祭文」

○ 期間、回数、日数及び入場者数

期 間	回数	日数	入場者数	目 標
6月7日(水)～6月22日(木)	32回	16日	18,922人(80.9%)	20,200人(86.4%)

		<p>○ 会場 文楽劇場 ○ 入場料 学生1,300円、一般3,600円、障害者2割引</p> <p>(4) 12月文楽鑑賞教室「伊達娘恋緋鹿子」、「解説 文楽のたのしみ」、「恋女房染分手綱」</p> <p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月5日(火)～17日(日)</td> <td>24回</td> <td>13日</td> <td>12,414人(93.5%)</td> <td>11,600人(87.4%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[社会人のための文楽入門] ※回数、日数、入場者数は上記に含まれる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8日(金)・15日(金)</td> <td>2回</td> <td>2日</td> <td>1,103人(99.7%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 会場 本館小劇場 ○ 入場料 学生1,300円、一般3,600円、障害者2割引</p> <p>(5) 6月能楽鑑賞教室 解説「能楽のたのしみ」、狂言「蝸牛」、能「小鍛冶」</p> <p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月19日(月)～23日(金)</td> <td>10回</td> <td>5日</td> <td>6,303人(100.5%)</td> <td>5,600人(94.8%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 会場 能楽堂(総席数1回あたり627人、計画時の総席数1回あたり591人) ○ 入場料 学生1,300円(全席)、一般:正面3,000円、脇正面2,500円、中正面2,000円、障害者2割引</p>	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	12月5日(火)～17日(日)	24回	13日	12,414人(93.5%)	11,600人(87.4%)	期 間	回数	日数	入場者数	8日(金)・15日(金)	2回	2日	1,103人(99.7%)	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	6月19日(月)～23日(金)	10回	5日	6,303人(100.5%)	5,600人(94.8%)	
期 間	回数	日数	入場者数	目 標																											
12月5日(火)～17日(日)	24回	13日	12,414人(93.5%)	11,600人(87.4%)																											
期 間	回数	日数	入場者数																												
8日(金)・15日(金)	2回	2日	1,103人(99.7%)																												
期 間	回数	日数	入場者数	目 標																											
6月19日(月)～23日(金)	10回	5日	6,303人(100.5%)	5,600人(94.8%)																											
<p>入場者数の達成状況</p>	<table border="1"> <tr> <td>148,200人以上</td> <td>103,740人以上 148,200人未満</td> <td>103,740人未満</td> </tr> </table>	148,200人以上	103,740人以上 148,200人未満	103,740人未満	<p>【入場者数の達成状況】実績148,385人/目標148,200人(達成度100.1%)</p>	<p>A</p>																									
148,200人以上	103,740人以上 148,200人未満	103,740人未満																													
<p>・現代舞台芸術の公演</p>	<p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する</p>	<p>(1) 高校生のためのオペラ鑑賞教室「カヴァレリア・ルスティカーナ」</p> <p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月10日(月)～15日(土)</td> <td>6回</td> <td>6日</td> <td>10,408人(98.0%)</td> <td>8,100人(75.0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 会場 オペラ劇場 ○ 入場料 2,100円、一般4,200円(当日券のみ)</p> <p>(2) こどものためのオペラ劇場「スペース・トゥーランドット」</p> <p>○ 期間、回数、日数及び入場者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>入場者数</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月28日(金)～30日(日)</td> <td>6回</td> <td>3日</td> <td>4,710人(86.6%)</td> <td>4,100人(75.0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 会場 中劇場 ○ 入場料 2,100円</p>	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	7月10日(月)～15日(土)	6回	6日	10,408人(98.0%)	8,100人(75.0%)	期 間	回数	日数	入場者数	目 標	7月28日(金)～30日(日)	6回	3日	4,710人(86.6%)	4,100人(75.0%)	<p>A</p> <p>各公演とも、企画意図に沿って制作・実施され、一定の効果があがったものと認められる。</p>								
期 間	回数	日数	入場者数	目 標																											
7月10日(月)～15日(土)	6回	6日	10,408人(98.0%)	8,100人(75.0%)																											
期 間	回数	日数	入場者数	目 標																											
7月28日(金)～30日(日)	6回	3日	4,710人(86.6%)	4,100人(75.0%)																											
<p>入場者数の達成状況</p>	<table border="1"> <tr> <td>12,200人以上</td> <td>8,540人以上 12,200人未満</td> <td>8,540人未満</td> </tr> </table>	12,200人以上	8,540人以上 12,200人未満	8,540人未満	<p>【入場者数の達成状況】実績15,118人/目標12,200人(達成度123.9%)</p>	<p>A</p>																									
12,200人以上	8,540人以上 12,200人未満	8,540人未満																													
<p>(4) 伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公開の実施に際しての連携協力・地方における上演等</p>	<p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する</p>		<p>A</p> <p>国立劇場の役割を踏まえた事業目的に沿って、一定の成果があがっているものと認められる。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】 地方の公共劇場と提携するなど、東京の舞台成果をもっと全国の観客に定期的に楽しんでもらう機会を作るための、更なる工夫と充実が期待される。</p>																												
<p>・伝統芸能の公開</p>	<p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する。</p>	<p>1. 平成18年度第61回文化庁芸術祭</p> <table border="1"> <tr> <td>主催公演</td> <td>(本館) 10月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵 第一部」 11月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵 第二部」 12月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵 第三部」 11月邦楽公演「忠臣蔵を聴く」 (演芸場) 10月大衆芸能公演「第294回国立名人会」 (能楽堂) 11月企画公演「枕物狂」「清経 恋之音取」 (文楽劇場) 11月文楽公演「心中天網島」「伊賀越道中双六」「紅葉狩」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(本館) 10月邦楽公演「文楽素浄瑠璃の会」 11月舞踊公演「舞の会－京阪の座敷舞」</td> </tr> </table>	主催公演	(本館) 10月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵 第一部」 11月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵 第二部」 12月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵 第三部」 11月邦楽公演「忠臣蔵を聴く」 (演芸場) 10月大衆芸能公演「第294回国立名人会」 (能楽堂) 11月企画公演「枕物狂」「清経 恋之音取」 (文楽劇場) 11月文楽公演「心中天網島」「伊賀越道中双六」「紅葉狩」		(本館) 10月邦楽公演「文楽素浄瑠璃の会」 11月舞踊公演「舞の会－京阪の座敷舞」	<p>A</p> <p>国立劇場の役割を踏まえた事業目的に沿って、一定の成果があがっているものと認められる。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】 国立劇場ならではの国、地方または企業との連携の展開が望まれる。特に地方自治体とのパイプを確保するための細やかな広報が期待される。</p>																								
主催公演	(本館) 10月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵 第一部」 11月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵 第二部」 12月歌舞伎公演「元禄忠臣蔵 第三部」 11月邦楽公演「忠臣蔵を聴く」 (演芸場) 10月大衆芸能公演「第294回国立名人会」 (能楽堂) 11月企画公演「枕物狂」「清経 恋之音取」 (文楽劇場) 11月文楽公演「心中天網島」「伊賀越道中双六」「紅葉狩」																														
	(本館) 10月邦楽公演「文楽素浄瑠璃の会」 11月舞踊公演「舞の会－京阪の座敷舞」																														

協賛公演	(演芸場)	10月・11月公演 (8公演)
	(能楽堂)	10月・11月定例公演 (4公演)
		10月・11月普及公演 (2公演)
		10月特別企画公演 (3公演)
	(文楽劇場)	10月舞踊公演「東西名流舞踊鑑賞会」
		11月大衆芸能公演「第26回上方演芸特選会」
		10月文楽既成者研修発表会「義太夫節に親しむ会」(研修公演)

2. 国・地方自治体等との後援・協力

【鑑賞教室における後援・協力】

後援＝文化庁、東京都、千葉県、埼玉県教育委員会、神奈川県教育委員会、全国都道府県教育委員会連合会、財団法人日本修学旅行協会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、滋賀県教育委員会、和歌山県教育委員会、NHK大放送局

協力＝社団法人東京都専修学校各種学校協会、社団法人神奈川県専修学校各種学校協会、関東高等学校演劇協議会、東京都高等学校演劇研究会、株式会社ジェイティービー、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社日本旅行、財団法人文楽協会

【地方公演における共催・協力】

- ・ 歌舞伎鑑賞教室山梨公演 (山梨県県民文化ホール)

共催＝財団法人やまなし文化学習協会

後援＝文化庁、山梨県、山梨県教育委員会、山梨県公立小中学校校長会、山梨県高等学校校長協会、山梨県高等学校文化連盟、NHK甲府放送局、山梨日日新聞社、山梨放送、テレビ山梨、エフエム富士、エフエム甲府

- ・ 歌舞伎鑑賞教室神奈川公演 (神奈川県立青少年センター)

共催＝神奈川県立青少年センター

後援＝文化庁、神奈川県教育委員会、神奈川県PTA連絡協議会、神奈川県立高等学校PTA連合会

【社会人のための入門・教室における後援・協賛】

後援＝社団法人日本経済団体連合会、社団法人経済同友会、東京商工会議所、社団法人東京青年会議所

【その他自主公演における共催・後援・協力】

- ・ 5月舞踊公演「祭りと祝福の舞踊」

協力＝社団法人日本舞踊協会

- ・ 1月民俗芸能公演「阿波の芸能」

協力＝徳島県

- ・ 国立劇場おきなわ10月企画公演「アジア・太平洋地域の芸能 日中伝統演劇交流会」

共催＝文化庁国際舞台芸術フェスティバル実行委員会

【外部フェスティバル等への参加等】

- ・ 関西元氣文化圏共催事業：文楽劇場全公演

3. 受託による伝統芸能の公開

- ・ 芸術祭祝典「弁慶二態～能楽と歌舞伎による～」本館大劇場、10月1日、1回

- ・ 能楽鑑賞移動教室 解説、狂言「蝸牛」、能「小鍛冶」

聖徳学園講堂 (千葉県松戸市)、7月6日、1回

- ・ 親子のための狂言の会 狂言・「盆山」「棒縛」「首引」鎌倉芸術館、8月7日、1回

4. 地方における公演

- ・ 歌舞伎鑑賞教室山梨公演「解説 歌舞伎のみかた」「国性爺合戦」

山梨県立県民文化ホール (山梨県甲府市) 6月26日、2回

- ・ 歌舞伎鑑賞教室神奈川公演「解説 歌舞伎のみかた」「彦山権現警助剣 -毛谷村-

神奈川県立青少年センター (神奈川県横浜市) 7月26日(火)～27日(水)、4回

- ・ 能楽鑑賞移動教室公演 解説、狂言「蝸牛」、能「小鍛冶」

聖徳学園講堂 (千葉県松戸市)、7月6日、1回

- ・ 親子のための狂言の会 狂言・「盆山」「棒縛」「首引」

鎌倉芸術館 (神奈川県鎌倉市)、8月7日、1回

・ 現代舞台芸術の公演

振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する

1. 平成18年度(第61回)文化庁芸術祭

主催公演	(オペラ)	「イドメネオ」
	(バレエ)	「白鳥の湖」
協賛公演	(オペラ)	「フィデリオ」
		地域招聘公演「フィガロの結婚」
	(バレエ)	「ライモンダ」
	(演劇)	「アジアの女」
		「シラノ・ド・ベルジュラック」
		「イワーノフ/オイディプス王」

2. 平成18年度文化庁舞台芸術国際フェスティバル

主催公演(現代舞踊) ダンスプラネットNo.21 「DANCE EXHIBITION 2006」

9月15日～9月19日、4回、小劇場

3. 外部団体との連携協力

(オペラ) 「フィガロの結婚」(10月15日、1回、中劇場)、共催：ひろしまオペラルネッサンス

B

昨年に比し、ジャンル、回数ともに更に一定の進展が見られる。

【より良い事業とするための意見等】

外部団体、地方における要望が強いことに鑑み、更なる工夫と充実が期待される。